

2027年度 学生募集要項

2027年度学生募集要項は、本学Webサイトでの公表となります。（冊子の配布は行っておりません。）
パソコンおよびスマートフォン・タブレットにてご覧ください。

名古屋芸術大学 Web サイト
www.nua.ac.jp



名古屋芸術大学 受験生サイト
www.nua.ac.jp/examinee/



芸術学部 芸術学科	音楽領域
	舞台芸術領域
	美術領域
	デザイン領域
	芸術教養領域
教育学部	子ども学科



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

目次

建学の精神、目的、教育理念、目標	P2
アドミッション・ポリシー	P3
志願者・受験者の個人情報の取扱いについて	P4
障がいや疾病のある受験者への特別配慮	P4
入学試験の成績開示について	P4
学部学科一覧と募集定員	P5
入試日程・募集人員	P6
出願から入学手続まで	P7
STAGE 1 出願	P7
STAGE 2 受験の事前準備	P11
STAGE 3 受験当日の注意事項	P13
STAGE 4 合格発表	P15
STAGE 5 入学手続	P16
入学試験概要	
出願資格	P20
出願書類について	P23
外国人留学生の方へ	P24
総合型選抜	
体験授業型入学試験	P26
自己PR型入学試験（活動評価型/未来評価型）	P40
実技型入学試験	P41
科目選択型入学試験	P42
プロフェッショナルアーティスト入学試験 ※音楽領域のみ	P43
学校推薦型選抜	
一般推薦入学試験	P44
一般選抜	
一般入学試験	P45
大学入学共通テスト利用入学試験	P46
教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験 ※教育学部のみ	P47
総合型選抜(特別枠)	
社会人&シニア入学試験	P48
海外帰国生徒入学試験	P48
外国人留学生入学試験	P48
3年次編入学試験	P51
実技内容	
芸術学部 芸術学科 音楽領域	P55
舞台芸術領域	P67
美術領域	P68
デザイン領域	P69
芸術教養領域	P71
教育学部 子ども学科	P72
名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表	P73
「プラスα加点」について	P74
採点基準・評価の観点等	P75
各種情報提供(過去問題、入試結果)	P77
問い合わせ先	P77

建学の精神

「し せ い ほ う し 至誠奉仕」

「誠実な心で、子どもを含む様々な人に接するとともに、自らの学問や技術を伸長させることで芸術や教養、教育・保育の力を養い、これをもって社会と文化に貢献する」

■大学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、芸術に関する専門の学術技法及び人間発達に関する専門的知識を教授研究し、並びに広範な展望の下、歴史及び社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化及び人間発達の創造発展に寄与しうる人材を養成することを目的とする。

■大学の教育理念と目標

本学は、知性と感性のバランスのとれた教育理念に基づき、分野横断的取組みによる新たな価値の創造を実現する。キャリア教育の取組みを強化し、自治体や企業との連携を進展させ、芸術による教育・研究を発展させ地域・社会に貢献する。

■各学部・学部の目的

1. 芸術学部の目的

音楽領域、舞台芸術領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する。

2. 教育学部の目的

初等教育・保育にかかわる理論ならびに技術の教授を通して、豊かな感性を備え、真に子どもの成長・発達を支えることのできる教育者・保育者を養成する。

■各学部・学部の教育理念と目標

1. 芸術学部の教育理念と目標

芸術に関する専門の学術技法を教授し、歴史的・社会的視点にたった芸術教育を施すことにより、地域・社会に貢献しうる人格の形成を目標とする。

2. 教育学部の教育理念と目標

教育・保育の理論とスキルを学び、実習等の経験を積み上げ、芸術的感性を備え、教育・福祉の両面で、子どもの成長・発達を支える力を獲得し、地域に貢献できる小学校・幼稚園教諭、保育士を育てる。

アドミッション・ポリシー

芸術学部 芸術学科 アドミッション・ポリシー	
芸術に創造的な価値を見だし、自己の潜在能力を導きだし、それらを通じて社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ領域単位で掲げる以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。	
求める学生像	〔音楽領域〕 ・音楽への意欲と情熱、音楽の理論と実技・実践を学修する勤勉性と能力、芸術文化への幅広い視野と関心、音楽への発展を通じて文化的な社会を形成する視点を有していること。 〔舞台芸術領域〕 ・舞台芸術（音楽・演劇・舞踊）と社会におけるそれらの価値や役割に強い情熱と関心と学修意欲を持ち、豊かな創造力と想像力、コミュニケーション力を活かして、舞台芸術の発展と舞台芸術を通じた社会課題の解決に臨む意欲があること。 〔美術領域〕 ・美術に対する関心や探求心があり、制作や表現に対して創造的な価値を見だし、それらを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。 〔デザイン領域〕 ・デザインに対する関心や探求心があり、モノづくりや思考を通じて、様々な問題を解決することで社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること。 〔芸術教養領域〕 ・芸術学部を設置する各領域各分野をはじめ、現代の多様な文化や社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかしつつ、地域と社会がかかえる課題を協働して解決していく意欲があること。
入学までに求める学習成果	・高等学校または中等教育学校の内容を幅広く学び得ており、かつ、専攻する分野については好奇心と意欲があること ・主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること ・自分の意見や主張したい事柄を自己の表現で的確に表現できること
入学者選抜の基本方針	〔総合型選抜〕 ・芸術学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術や知識に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。 〔学校推薦型選抜〕 ・在卒学校の推薦に基づき、課題や実技および面接や書類審査等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。 〔一般選抜〕 ・実技や作品などを通じて総合的に評価を行います。また、学科試験を課すものについては、科目の学力を通じて各領域における学びの観点から総合的に評価を行います。 〔総合型選抜（特別枠）〕 ・芸術学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、実技や作品、小論文などを通じて総合的に評価を行います。

教育学部 子ども学科 アドミッション・ポリシー	
高度な実践力を備えた保育士、幼稚園・小学校教諭、あるいは子どもたちとの様々な関わりを通して社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。	
求める学生像	・子どもが好きであり、高い倫理観と豊かな人間性が備わっていること。 ・将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの保育・教育職、あるいは子どもたちに関わる各分野で活躍したいという意欲があること。 ・協調性を備え、高いコミュニケーション能力が身につけていること。 ・議論を通して学びを深めようとする好奇心や探求心があること。
入学までに求める学習成果	・高等学校または中等教育学校の内容を幅広く学び得ていること ・主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること ・自分の意見や主張したい事柄を自分の言葉で論理的に表現できること ・探究的な学習やボランティアを通じて、子どもたちをはじめとする多様な人々とのコミュニケーションを経験していること
入学者選抜の基本方針	〔総合型選抜〕 ・教育学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。 〔学校推薦型選抜〕 ・在卒学校の推薦に基づき、面接や書類等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。 〔一般選抜〕 ・教育学部が求める科目の学力について、個別筆記試験や全国一斉の共同試験、また英語については、指定の民間資格・検定結果などを活用して評価を行います。また「教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試」では、教育学部の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を主に大学入学共通テストの結果により総合的に評価します。 〔総合型選抜（特別枠）〕 ・教育学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、面接や小論文を通じて総合的に評価を行います。

志願者・受験者の個人情報の取扱いについて

出願時に提供された志願者個人情報(氏名、住所等)は、本学における出願処理、出願内容確認等の場合の連絡、入学試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関連書類の送付、合格者の入学後の教務・学生支援関連事務(学籍や健康管理、奨学金申請等)や授業料等に関する業務、および入学試験の改善や志望動向調査・研究を行うために利用いたします。

なお、出願内容について不備等があった場合、その確認や訂正・補完を速やかに行っていただく便宜から、志願者本人が本学を受験されること、および志願者自身の出願内容について不備等があったことを志願者の保護者等または志願者の出身(所属)学校に問い合わせる場合があります。

上記の業務は、その一部を名古屋芸術大学より当該業務の委託を受けた会社(以下、「受託会社」といいます。)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託会社に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがありますので、予めご了承ください。

また、本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

以上のことについて、本学への出願手続きを完了した時点で、志願者は上記事項を理解し、同意いただいたものとみなします。

障がいや疾病のある受験者への特別配慮

本学に入学を志願する者で、障がいや疾病を有する等、受験上および修学上、特別な配慮を必要とする場合は、必ず受験しようとする入試区分試験日の3週間前までに、申請書(任意の様式)および「医師の診断書」、「障がい者手帳」等のコピーを本学広報部学生募集チームまで提出してください。

なお、必要な場合には、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身(所属)学校関係者等との面談を行います。

[申請書(任意の様式)記載事項]

氏名、住所、電話番号、志望学部・学科(領域・コース)名、障がいや疾病の種類、受験および修学に特別な配慮を希望する内容、その他参考となる事項

入学試験の成績開示について

名古屋芸術大学では、入学試験受験者本人から請求があった場合に限り、本人が受験した入学試験の結果を開示します。開示を希望される場合は、郵送のみの受付となりますので、以下の要領でお申し込みください。

1. 開示対象の試験区分と開示科目	総合型選抜科目選択型入試、一般推薦入試:基礎学力検査の得点 一般入試:学科試験における科目別得点 大学入学共通テスト利用入試:換算後の科目別得点 「小論文」の得点(入試区分は問わない)
2. 開示申請期間	2027/4/5(月)～5/7(金) [最終日消印有効]
3. 開示方法	開示請求のあったものについて、一括処理後、郵送で出願時記載の住所に送付します。(2027年5月末予定)。転居等により出願時記載の住所と異なる場合は、現住所の住民票の写しを同封してください。
4. 申請者	受験者本人に限ります(代理人申請は不可)。本人確認のため、身分を証明する書類のコピー※を同封してください。 ※氏名と生年月日が示されている書類(例:健康保険証、各種免許証、学生証など) ・提示していただいた個人情報は申請者の本人確認の目的にのみ使用します。
5. 申込方法	次の書類を任意の封筒に入れ、表面に「入学試験成績開示請求」と朱書きのうえ、「簡易書留」にて送付してください。 ●開示を希望する次の項目を明記した書類(任意様式) ①試験区分および受験番号 ②受験者の氏名、住所および電話番号 ●返信用封筒(長形3号 12cm×23.5cm) ※簡易書留料金含む郵便料金の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入してください。 ●住民票の写し ※送付先が出願時記載の住所と異なる場合に必ず同封してください。
6. 書類の送付先・問い合わせ先	〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地 名古屋芸術大学広報部学生募集チーム TEL 0568-24-0318

学部学科一覧と募集定員

学部 学科	領域	コース		募集定員	
芸術学部 芸術学科 (485名)	音楽領域	ProA	プロフェッショナルアーティストコース	10名	140名
		Ⅰ類	音楽コース	20名	
			鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)		
			弦管打コース		
		Ⅱ類	ウインドアカデミーコース	20名	
			ポップス・ロック&パフォーマンスコース		
		Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース	30名	
			声優アクティングコース		
		Ⅳ類	サウンドメディア・コンポジションコース	60名	
			ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		
	音楽ケアデザインコース				
	音楽総合コース				
	舞台芸術領域	入学時のコース選択はありません。 2年次に右記3コースからの選択制です。		舞台美術コース	50名
				演出空間コース	
				舞台プロデュースコース	
	美術領域	Ⅰ類	日本画コース	25名	100名
		Ⅱ類	洋画コース	25名	
			現代アートコース		
		Ⅲ類	コミュニケーションアートコース	25名	
			工芸コース		
	Ⅳ類	美術総合コース	25名		
	デザイン領域	ファンデーション 入学時のコース選択はありません。 2年次に右記9コースからの選択制です。 ※先端メディア表現コース、文芸・ライティング コースも選択可(ただし、定員に上限あり)	ヴィジュアルデザインコース	130名	170名
			イラストレーションコース		
メディアコミュニケーションデザインコース					
ライフスタイルデザインコース					
スペースデザインコース					
インダストリアル&セラミックデザインコース					
カーデザインコース					
テキスタイルデザインコース					
工芸コース					
先端メディア表現コース		20名			
文芸・ライティングコース	20名				
芸術教養領域	リベラルアーツコース		25名		
教育学部 子ども学科 (100名)	子ども・ファンデーション 入学時の免許・資格取得に係る系の選択は ありません。 2年次に右記2つの系からの選択制です。	学校教育系	100名		
		幼児教育・保育系			

入試日程・募集人員

選抜区分	期	専願／併願可	試験区分	スケジュール(期間:2026年7月～2026年9月)	
				申込期間 (開始日10:00～最終日17:00まで)	体験授業日
体験授業	—	—	体験授業(1回目)	7月1日(水)～7月12日(日)	7月18日(土)
	—	—	体験授業(2回目)	9月1日(火)～9月6日(日)	9月12日(土)

選抜 区分	期	専願／ 併願可	試験区分	科別枠	募集人員							スケジュール（期間：2026年9月～2027年3月）				
					芸術学部芸術学科（領域）					教 学 部 と 其 他	出願登録期間 【エントリー登録期間】 （開始日10:00～最終日17:00まで）	提出書類 郵送期限 （消印有効）※5	試験日	合格発表日 【出願許可通知日】	入学手続 締切日	
音楽	舞台 芸術	美術	デザ イン	芸術 教養	9月1日(火)～9月6日(日)	9月7日(月)	学内選考のみ （来学不要）	9月16日(水)	—							
総合型 選 抜	—	—	体験授業型入学試験 （エントリー①）	共通	55	20	32	70	5	30	9月1日(火)～9月6日(日)	9月7日(月)	学内選考のみ （来学不要）	9月16日(水)	—	
	—	—	体験授業型入学試験 （エントリー②）								9月15日(火)～9月20日(日)	9月21日(月)	学内選考のみ （来学不要）	9月30日(水)	—	
	1期	専願	体験授業型入学試験（出願）								10月1日(木)～10月9日(金)	10月10日(土)	学内選考のみ （来学不要）	11月3日(火)	12月18日(金)	
		併願可	自己PR型入学試験（活動評価型）								9月24日(木)～10月9日(金)	10月10日(土)	10月17日(土)			
			自己PR型入学試験（未来評価型）													
	2期	併願可	実技型入学試験 ※6	共通	11月16日(月)～12月7日(月)	12月8日(火)	12月12日(土)	12月18日(金)	1月21日(木)							
			自己PR型入学試験（活動評価型）													
			自己PR型入学試験（未来評価型）													
	1期	併願可	プロフェッショナル アーティスト入学試験 ※1	共通	10	—	—	9月24日(木)～10月9日(金)	10月10日(土)	10月17日(土)	11月3日(火)	12月18日(金)				
		2期	併願可					11月16日(月)～12月7日(月)	12月8日(火)	12月12日(土)	12月18日(金)	1月21日(木)				
	学校推薦型 選 抜	—	併願可	一般推薦入学試験	普通科	12	2	8	8	2	5	11月2日(月)～11月9日(月)	11月10日(火)	11月14日(土)	12月1日(火)	12月18日(金)
併願可			普通科以外	12	2	8	8	2	5							
専願			指定校推薦入学試験 ※2	共通	16	4	12	19	3	20						
一般 選 抜	前期	併願可	一般入学試験 ※1	共通	29	15	20	45	8	25	1月6日(水)～1月26日(火)	1月27日(水)	2月3日(水)	2月12日(金)	2月26日(金)	
	後期	併願可			若干名	3	8	2	2	6	2月10日(水)～2月23日(火)	2月24日(水)	3月2日(火)	3月10日(水)	3月24日(水)	
	前期	併願可	大学入学共通テスト 利用入学試験	共通	6	4	12	18	3	6	1月6日(水)～1月26日(火)	1月27日(水)	個別の 学力検査の 実施なし （来学不要）	2月12日(金)	2月26日(金)	
	後期	併願可			各領域 若干名				3	2月10日(水)～2月23日(火)	2月24日(水)	3月10日(水)		3月24日(水)		
	前期	併願可	教育学部 大学入学共通テスト 利用型特待入試 ※3	共通	—				若干名	1月6日(水)～1月26日(火)	1月27日(水)	2月12日(金)				
総合型選抜（特別 枠）	1期	併願可	社会人＆シニア入学試験	共通	各領域 若干名	若干名	10	10	10	10月13日(火)～10月22日(木)	10月23日(金)	11月14日(土)	12月1日(火)	12月18日(金)		
			海外帰国生徒入学試験													
			外国人留学生入学試験													
		専願	現地選抜型外国人特別入学試験 （JPUE） ※4													
	2期	併願可	社会人＆シニア入学試験							1月6日(水)～1月14日(木)	1月15日(金)	2月3日(水)	2月12日(金)	2月26日(金)		
			海外帰国生徒入学試験													
			外国人留学生入学試験													
	1期	専願	3年次編入入学試験	共通	15	若干 名	10	10	若干 名	10	10月13日(火)～10月22日(木)	10月23日(金)	11月14日(土)	12月1日(火)	12月18日(金)	
2期	専願	1月6日(水)～1月14日(木)									1月15日(金)	2月3日(水)	2月12日(金)	2月26日(金)		

- ※1 音楽領域プロフェッショナルアーティストコースを受験することができる入試です。
- ※2 学校推薦型選抜「指定校推薦入試」は本学が指定校対象としております学校長に推薦を依頼し、学校長より推薦された者が受験できます。詳細は、6月末までに当該高等学校宛に案内を送付しますので、そちらでご確認ください。
- ※3 「教育学部 子ども学科」のみ対象となります。
- ※4 総合型選抜(特別枠)「現地選抜型外国人特別入試」は日本大学連合学力試験(JPUe)を通じて本学を受験する入試です。選考方法等の詳細は、本学Webサイトでご確認ください。
- ※5 日本国外からの郵送の場合は、郵送と併せてすべての提出書類の写し(PDFまたは画像データ)を提出書類郵送期限までにメールで提出してください。
- ※6 旧「エキスパート入試」に代わる入試です。

出願から入学手続まで

STAGE 1 出願 (インターネットによる出願のみとなります。)

本学のインターネット出願は、出願期間内に本学出願サイト上で出願登録を行い、**ダウンロードし印刷した「提出用書類」**(出願確認票・送付ラベル)とともに**志願先に応じた出願書類等**を郵送する出願方法です。



インターネット出願を始める前に

利用環境の確認



推奨環境

〈Windows11〉 ● Microsoft Edge 146.0
● Google Chrome 146.0

〈Mac〉 ● macOS 15.7.5 Safari 26.4

〈スマートフォン・タブレット〉 ● iOS 26.4 Safari 26.4

● Android 16 Google Chrome 146.0

※パソコン環境のご利用を推奨しています。スマートフォン、タブレットはご利用できますが、PDFファイルの印刷環境を準備してください。携帯電話からはご利用できません。

※ポップアップブロックを無効に設定してください。

推奨Webブラウザ以外のブラウザをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。

本サイトのインターネット出願ではcookie(クッキー)およびJavaScriptを使用しています。

ご使用のブラウザの設定画面にて、cookieおよびJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

Androidスマートフォン・タブレットをご使用の場合は、ご使用機種の標準ブラウザでは出願書類(PDF)がダウンロードできない場合があります。Androidスマートフォン・タブレットのブラウザはChromeをご使用ください。



PDF

学生募集要項、「出願書類(本学所定様式)」、出願登録後の「**提出用書類**」・「**受験票**」はPDFまたはGoogleDocsで表示されます。

※PDFで文書をご覧いただく場合は、アドビシステムズ社のAdobe AcrobatReaderが必要です(無償)。

ご利用のパソコンにAdobe AcrobatReaderがインストールされていない場合は、最新版をインストールしてください。

※スマートフォン、タブレットでご覧いただいている場合は、GoogleDocsでの表示を推奨しています。

(閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは必要ありません)



プリンタ

出願登録後の「**提出用書類**」・「**受験票**」を印刷するためにプリンタが必要です。

ご使用のパソコンにプリンタが接続されていることを確認してください。

必ず**A4用紙に印刷**してください。

※プリンタをご使用できない環境の場合、「**提出用書類**」・「**受験票**」はPDF形式で表示されますので、PDFファイルを保存し、保存したファイルを別途印刷してください。



メールアドレス

志願者情報登録時にメールアドレスの入力が必須となります。入学時まで大切なお知らせメールをお送りします。

※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。

(**@nua.ac.jp**) および (**@sak-sak.net**) を受信可能なドメインとして設定してください。

※登録したメールアドレスは、原則、変更できませんので、出願から入学手続および入学するまで受信可能なものを使用してください。



顔写真

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- ・カラー写真であること



個人情報の取り扱いについて

インターネットでの出願登録の際に、志願者情報として氏名・住所・生年月日などの個人情報を収集します。個人情報の取り扱いについて同意のうえ出願をはじめてください。

〈個人情報の利用目的〉

ご利用者の個人情報の取扱いについては「[志願者・受験者の個人情報の取扱いについて](#)」をご覧ください。

インターネット出願方法

インターネット出願を行う場合は、Step1・Step2・Step3 の手順で申込みを行ってください。検定料のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。

Step1 インターネット出願登録

1 インターネット出願サイトにアクセス

本学Webサイトからアクセスしてください。

(URL)<https://sak-sak.net/app/nua/>

〈出願サイト〉



2 試験情報の登録

出願を希望する試験を登録します。

登録したメールアドレス宛に届く確認用メールを必ず確認してください。
(入学までの登録メールアドレスは使用します。)

3 志願者情報の登録

氏名・住所・電話番号等を登録します。※顔写真データのアップロードが必要です。(JPEGデータを事前にご用意ください。)

●ユーザID (半角英数字8文字以上。入力したメールアドレスをIDとすることもできます。)

●パスワード (半角英数字併せて8文字以上。)

※ユーザID・パスワードは「出願状況確認」「受験票ダウンロード」等で必要となりますので忘れないように各自で管理してください。

4 提出用書類の印刷

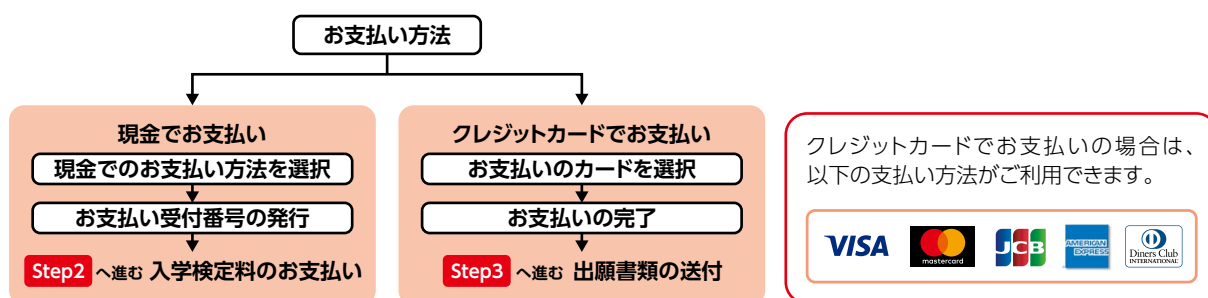
提出用書類(出願確認票・送付ラベル)を印刷します。

5 入学検定料お支払い方法の選択

現金支払い(コンビニ、ATM決済(ペイジー)、ネットバンキング)またはクレジットカード支払いを選択します。

※現金でお支払いの場合は、インターネット出願登録後にお支払いを行い、領収書をお受け取りください。(Step2へ)

クレジットカードでお支払いの場合は、お支払い完了画面が表示された後、出願書類の送付を行ってください。(Step3へ)



Step2 入学検定料のお支払い(現金でお支払いの場合)

コンビニエンスストア ※コンビニエンスストアをご利用の場合は、30万円を超えるお支払いはできません。

LAWSON



あなただけのコンビニ

FamilyMart



領収書

ATM決済(ペイジー)



ゆうちょ銀行



ネットバンキング



PayPay 銀行

Rakuten 楽天銀行

明細票

サポートページ

https://www.veritrans.co.jp/user_support/

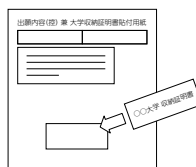


ご利用になられるお支払い方法の手順で、入学検定料のお支払いを行い、領収書(明細票)をお受け取りください。
領収書(明細票)のコピーは提出用書類に貼り付ける必要があります。

Step3 出願書類の送付(出願登録後に印刷した「送付ラベル」を使用し、角2サイズ以上の封筒で郵送)

1 領収書(明細票)のコピーを提出用書類に貼り付ける

現金でお支払いの場合は、検定料のお支払い時(Step2)に受け取られた領収書(明細票)のコピーを提出用書類(Step1)に貼り付けてください。



※クレジットカードまたは、セブンイレブンおよびデイリーヤマザキでお支払いの場合は領収書(明細票)のコピーは不要です。

2 提出用書類、調査書等の出願書類を郵送する

※出願書類については、各試験区分の要項でご確認ください。

入学検定料

全入学試験(大学入学共通テスト利用入学試験を除く)	1 出願につき、15,000円
大学入学共通テスト利用入学試験	1 出願につき、3,000円

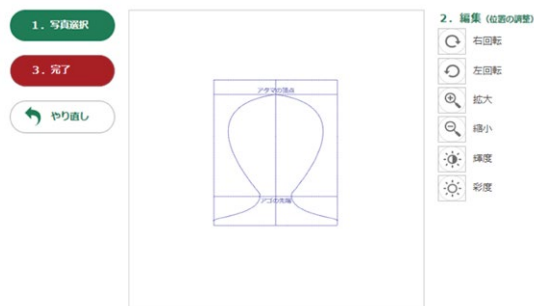
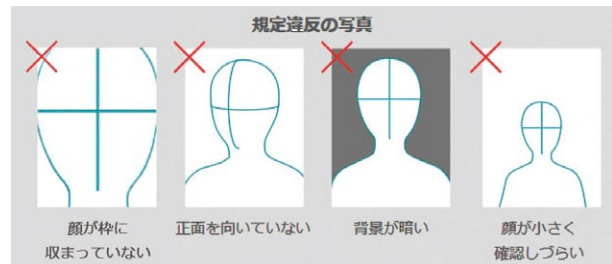
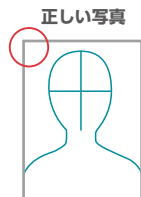
支払方法はクレジットカードまたはコンビニエンスストア、ペイジー(銀行ATM)での支払いとなり、事務手数料として1出願あたり別途517円(1出願で入学検定料合計金額が30,000円を超えると1,122円)がかかります。

※納付された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

顔写真データのアップロード

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- ・カラー写真であること



次の1～3の手順で顔写真データのアップロードを行ってください。

1. 写真選択
写真データ(JPEG形式)を選択してください。
2. 編集(位置の調整)
上記規定のとおりレイアウト枠内(アタマの頂点とアゴの先端)に収まるように、左右回転/拡大縮小/輝度/彩度を調整してください。
3. 完了
調整が完了したら、「3.完了」ボタンをクリックしてください。

出願時の注意事項

1. インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送することで出願が完了します。これらのすべてを期限までに行ってください。
2. 入力を間違えた場合、また入金がない場合は、無効になるため、再度出願してください。また、パソコンやインターネットの状態によりエラーになった際は、正しく出願登録が完了しているか、入学検定料支払いでクレジットカード決済を選択した場合は支払いが完了しているかの確認を必ず行ってください。
3. スマートフォン等からの出願登録については、一般的な機種では動作を確認していますが、一部の機種では正常に登録できない可能性がありますので、できるだけパソコンを利用して推奨環境で出願してください。
4. 登録したメールアドレスは、登録完了、入金完了の確認、受験票PDF取得通知等のメール送信のために使用します。
出願時に「メールアドレスの送信確認」を必ず実行し、本学からのメールが確実に受信できることを確認のうえ登録を行ってください。
ドメイン: (@sak-sak.net) および (@nua.ac.jp)からの受信許可設定を行ってください。
なお、メールが届かない場合は、本学広報部学生募集チーム[TEL:0568-24-0318]まで電話でご連絡ください。
5. 入学検定料の支払い後は、出願登録内容(試験日程や志望学科領域コース等)の変更は一切認めません。
6. 納付された入学検定料および受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
7. いかなる場合も本学から領収書の再発行はしませんので、領収書は大切に保管してください。
8. 出願書類に不備・不足がある場合は、出願受理ができない場合があります。
9. 顔写真が規定違反であった場合は、再提出をお願いすることがあります。
10. 出願書類に虚偽の記載があること、受験時に不正行為を行ったことが判明した場合には、合格または入学を取り消します。
11. 外国の教育制度に基づく教育施設を修了(修了見込)の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。その際、日本語・英語以外で記載されている場合は、日本語の訳文を添付し、翻訳証明を提出してください。

インターネット出願 Q&A

1. 利用環境について

スマートフォン、携帯電話、タブレット端末から出願できますか？

パソコン環境のご利用を推奨しています。

スマートフォン、タブレットはご利用できますが、PDF ファイルの印刷環境を準備してください。携帯電話からはご利用できません。

ダウンロードした様式がうまく表示されません。

PDFはAdobe Acrobat ReaderまたはGoogle Docsで表示してください。

(パソコンではAdobe Acrobat Readerでの表示を推奨しています。)

ボタンをクリックしても反応しません。または、次の画面で正しい内容が表示されません。

*cookie(クッキー)の設定が有効になっていますか？

cookieを使用しているため、必ずブラウザの設定を「cookieを受け取る(有効にする)」にしてください。

*JavaScriptが有効になっていますか？

JavaScriptを使用しているため、必ずJavaScriptを有効にしてください。

メールアドレスはスマートフォンや携帯電話のものをえますか？

スマートフォンや携帯電話のメールアドレスもご利用いただけます。

ただし、メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがありますので、ドメイン(@sak-sak.net) および(@nua.ac.jp)を受信する設定にしてください。

メールアドレスを持っていません。

出願登録時にメールアドレスの入力が必須となりますので、使用可能なメールアドレスをご準備ください。

メールアドレスは登録完了、入金完了の確認メールおよび、受験票PDF取得通知のメールを送信するために使用します。

また、IDやパスワードを忘れた際に志願者情報を入力することで、登録されたメールアドレスに現在登録されているIDまたは自動設定された新しいパスワードが送信されます。

自宅にプリンタがありません。

自宅にプリンタがない場合は、記憶媒体(USBメモリなど)に保存してコンビニエンスストア等で印刷をしてください。

2. Web出願について

途中でブラウザを閉じてしまいました。

セキュリティ対策として、入力途中の状態をブラウザ上に保持しておりません。初めから出願登録をやり直してください。

「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。

セキュリティ対策として、一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。初めから出願登録をやり直してください。

氏名、住所に正しい漢字が登録できません。

旧字やJIS第2水準外の文字等で正しく変換できなかったり、入力エラーになる場合は代替文字(全角)を入力してください。

例) 高→高、崎→崎、Ⅲ(ローマ数字)→3

提出用書類を印刷し忘れしました。

再印刷画面より出願受付番号とパスワードを入力していただければ、再印刷が可能です。

出願登録後に登録内容を変更することはできますか？

*最終確認画面で「申込」をクリックする前の場合

入力した情報を変更することができますので、「戻る」ボタンで画面を戻って変更してください。

*完了画面まで進んでいる場合

【コンビニエンスストア、ペイジー決済の場合】

入学検定料の決済が完了していない場合は、再度出願登録からやり直してください。

入学検定料の決済が完了している場合は変更できません。

【クレジットカード、ネットバンキング決済の場合】

入学検定料の決済が完了していますので変更できません。

申込をキャンセルしたいのですが。

入学検定料の決済前であれば、そのまま決済しなければ、出願期間を過ぎると自動的にキャンセルとなります。

入学検定料の決済後の場合は、キャンセルすることはできません。

個人情報を誤って登録してしまいました。

【入学検定料支払い前の場合】

現在の登録はそのままにして、再度出願登録からやり直してください。

【入学検定料支払い後の場合】

印刷した出願確認票の訂正箇所にも二重線を引き、空いているスペースに正しい内容を赤ペンで記入してください。

入試種別、志望学部の変更・取消はできませんので、ご注意ください。

STAGE 2 受験の事前準備

受験票 ※本学からの受験票送付はありません。

受験票には、「受験番号」「試験日」「試験場」「集合場所」「集合時間」等が記載されます。

受験票 (PDF) は出願サイトからダウンロードできます。試験当日必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合は受験できない場合があります。また受験票を紛失または忘れた場合は、試験場にて係員に申し出てください。

※大学入学共通テスト利用入試および教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試は本学独自の試験は実施しませんので受験票のダウンロードはできません。受験番号は、「受験番号照会サービス」項目で確認してください。

受験票ダウンロード

出願書類を本学で確認後に、受験番号付番を行います。その後、受験票取得(確認)期間に受験票PDFをダウンロードしていただきます。

【本学からの受験票の送付はありません。】

インターネット出願登録時に登録するユーザIDとパスワードを忘れないようにしてください。

受験票取得(確認)期間^{※1}

選抜区分	期	試験区分	受験票取得可能日 (10:00~)
総合型選抜	1期	体験授業型入試	2026/10/14(水)
		自己PR型入試(活動評価型)	
		自己PR型入試(未来評価型)	
		実技型入試	
		プロフェッショナルアーティスト入試	
	2期	自己PR型入試(活動評価型)	2026/12/9(水)
		自己PR型入試(未来評価型)	
		実技型入試	
		科目選択型入試	
		プロフェッショナルアーティスト入試	
学校推薦型選抜	—	一般推薦入試	2026/11/11(水)
		指定校推薦入試	
一般選抜	前期	一般入試	2027/1/29(金)
	後期	一般入試	2027/2/26(金)
総合型選抜(特別枠)	1期	社会人&シニア入試	2026/11/11(水)
		海外帰国生徒入試	
		外国人留学生入試	
		3年次編入学試験	
		現地選抜型外国人特別入試(JPUE)	
	2期	社会人&シニア入試	2027/1/29(金)
		海外帰国生徒入試	
		外国人留学生入試	
		3年次編入試験	
		3年次編入試験	

※1 受験票取得可能日から**入学手続締切日**までダウンロードが可能です。

※2 **「大学入学共通テスト利用入試」「教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試」は受験票はありません。**
「インターネット等による受験番号照会」の案内に従い、必ず確認してください。

1 出願サイトにアクセス

受験票PDFダウンロード通知メールを受け取ったら、出願サイトのトップ画面右下にある「**ユーザ登録済の受験者用**」欄に、出願登録時に登録した「**ユーザID**」と「**パスワード**」を入力し、「**出願状況確認**」ボタンをクリックしてログインしてください。

2 受験番号を確認

出願登録した日時を確認し、出願受付番号欄に記載されている、「**出願受付番号**」をクリックして出願状況詳細を表示し、受験番号欄に記載されている受験番号を確認してください。

確認する出願状況を選択します。該当する出願受付番号をクリックしてください。

出願日時	出願受付番号
2017/07/02 18:20:36	1009000016

クリック

3 受験票を印刷

出願状況詳細に表示されている受験番号欄の右側にある「**印刷**」ボタンをクリックし、受験票PDFをダウンロードします。

ダウンロードした受験票PDFは、必ず印刷し、**試験当日に持参**してください。

※**正しく印刷されない場合**

推奨環境以外で印刷を行うと、正しく表示がされない場合がございますので、推奨環境の設定をお願いいたします。

※**ユーザID、パスワードを忘れた場合**

利用案内画面の「ユーザIDを忘れた方はこちら」、「パスワードを忘れた方はこちら」を参照してください。

受験番号照会〔大学入学共通テスト利用入試および教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試受験者用〕

受験番号照会サービスの利用期間

各期受験番号照会サービス開始日の午前10時から入学手続期限日まで

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで受験番号照会ページにアクセス（※本学Webサイトからもアクセスできます。）

<https://sak-sak.net/app/ref/nua/>



（スマートフォン用）

2

大学入学共通テスト成績請求番号と生年月日の入力

大学入学共通テスト成績請求番号と生年月日を入力し、
「受験番号確認」ボタンをクリックしてください。

3

受験番号の確認

選抜区分	期	試験区分	照会サービス開始日 (10:00～)
一般選抜	前期	大学入学共通テスト利用入試	2027/1/29(金)
		教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試	
一般選抜	後期	大学入学共通テスト利用入試	2027/2/26(金)

受験当日の持ち物

●受験票

折り曲げて差し支えありませんが、濡れたり（雨天時等）破損したりしないよう心掛けてください。

●筆記用具

HBの黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム

※特別に指定していない限り、下敷き、辞書、電子機器類の使用は認めません。

●時計

計時以外の機能が付いたものの使用は認めません（スマートウォッチ、ウェアラブル端末や辞書、電卓の機能が付いているもの）。

また、スマートフォン（携帯電話）や目覚まし時計、キッチンタイマー等を時計として使用することはできません。

●昼食

必要に応じて受験票に昼食持参の指示を記載しますので、必ず確認してください。なお、試験当日は試験場の食堂は営業していません。
ゴミは必ず持ち帰ってください。

●楽器や作品、課題等、入学試験当日に必要なもの。または持参の指示があったもの

各学科領域コースにおける選抜に必要なものや持参の指示があったものについては、受験する入試区分の選抜方法を各自確認のうえ忘れないよう持参してください。

※筆記用具や時計の貸し出しは行いません。また、耳栓は試験監督者の指示が聞き取れない場合があるため、使用は認めません。なお、ハンカチ、ティッシュペーパー、座布団、ひざ掛け、目薬の使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督者の許可を得てください。

宿泊施設の手配

本学受験のために宿泊を希望される場合は、本学Webサイトから本学が斡旋している宿泊先の情報をご覧ください。

その他、各旅行代理店やインターネットの宿泊ナビサイト等を利用のうえ各自でご予約されるようお願いします。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者への感染のおそれがありますので、受験を遠慮願います。

ただし、病状により学校医その他の医師から伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により、受験を遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。

STAGE 3 受験当日の注意事項

試験場

- 試験場は受験票に記載されますので、確認のうえ、間違いのないようご注意ください。
- 試験場は原則、名古屋芸術大学東キャンパス[愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地]または、名古屋芸術大学西キャンパス[愛知県北名古屋市徳重西沼65番地]となりますが、諸事情により別の施設を試験場として設定する場合がありますので必ず受験票およびメール通知にてご確認ください。
- ・[大学入学共通テスト利用入試] および「教育学部大学入学共通テスト利用型特待入試」は、個別学力検査は実施しませんので試験場はありません。
- ※東西両キャンパスとも最寄り駅は名鉄「徳重・名古屋芸大」駅です。普通(各駅停車)電車しか停車しない駅ですので、名鉄電車利用の際はしっかり確認して乗車するようにしてください。また、名古屋市営地下鉄の「徳重」駅と間違えた事例がありましたので、ご注意ください。
- ※試験場を間違えた場合は、間違えた試験場での受験はできませんのでご注意ください。

受験時の注意事項

1. 公共交通機関による試験場へのアクセスは事前に各自で確認のうえ、時間に余裕をもって来場してください。なお、自動車による送迎は、必ず指定の駐車場をご利用ください。
2. 試験当日は試験場の誘導掲示等に従い、指定された試験室に入室してください。また、筆記、記述の選抜内容を受験する場合、試験室では机の上に貼られている受験番号シールが自分の受験票に記載されている受験番号と同一であることを確認のうえ着席してください。
3. 受験票を忘れた場合や紛失した場合は、必ず係員に申し出て指示を受けてください。
4. **試験当日の遅刻限度は、試験開始後20分まで**です。試験開始後20分を過ぎた遅刻者は、当該科目の受験は認めません。なお、公共交通機関の遅れによる遅刻の場合は、公共交通機関窓口(駅など)で「遅延証明書」を受け取り、係員に提出してください。自動車を利用した場合の交通渋滞などによる遅刻は一切認めません。
5. 特別に指定している場合を除き、試験室入室の際、スマートフォン(携帯電話)等の通信機器類は必ず電源を切ってください。万一、試験時間中に鳴動した場合、試験監督者が所有者の同意がないまま試験室外へ持ち出し、試験終了まで本学が保管する処置をとる場合があります。
6. 受験者の付き添い者は試験室へは入室できません。試験終了までお待ちになる場合は所定のスペースをご利用ください。
7. 試験開始から試験終了まで試験室からの退室は認めません。なお、試験中の発病、または用便等やむを得ない場合は、すみやかに試験監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長は一切行いません。
8. 試験前日等に試験場の下見は可能ですが、試験室内は見ることができません。
9. 試験当日は、気候気温に応じて空調稼働しますが、体温温度には個人差がありますので、調整しやすい服装を心がけてください。
10. 受験時は、すべて試験監督者の指示に従ってください。なお、以下の行為は不正行為とみなし、受験そのものを取り消すとともに入学検定料も返還しません。不正行為とみなした場合には、別室での聴取、所持品検査、必要に応じて追加的な書類の提出を行ったうえで、警察への被害届の提出等を行う場合があります。
 - ・カンニング(カンニングペーパー、関連書籍の閲覧、他の受験者の答案等を見る行為)をすること
 - ・受験者以外の者が、受験者本人になりすまして受験すること
 - ・解答を教えるなど、他の受験者に有利となるような行為をすること
 - ・使用を認められていない用具を使用して解答すること
 - ・試験の開始や終了の指示など、試験監督者の指示に従わないこと
 - ・特別に指定している場合を除き、試験時間中に電子機器類(携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等)や、補助具(コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等)を身に付けていたり、手に持っていること
 - ・試験に使用する作品等において、虚偽の申告(受験者以外の者が制作した作品等を自己作品と偽る行為など)を行うこと
 - ・その他、試験の公平性や試験中の静寂性を損なうような行為をすること
11. イヤホンについて、耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。試験時間中、病気・負傷や障がい等により補助器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。(「障がいや疾病のある受験者への特別配慮」参照)
12. 筆記、記述の選抜内容を受験する場合、英語の文字や地図、漢字の表記がプリントされている衣服は着用しないでください。試験当日着用していた場合は試験監督者の判断により、脱衣もしくは当該部分を覆う等の指示や処置を行う場合があります。
13. 試験当日、試験場周辺に不動産物件を紹介するなど声をかけてくる私設業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係がございません。トラブル等に巻き込まれないように十分お気をつけください。なお、万一トラブルになっても本学は一切責任を負いません。

14. 試験当日、気象警報が発令されていた場合でも予定通り入学試験は行います。試験日時の変更や試験の開始・終了時刻の変更措置を取る場合は、本学Webサイトにてお知らせします。なお、受験に必要な費用（試験場までの旅費交通費や食事代等）は、いかなる理由があっても受験者本人が負うものとします。また、本学から緊急の連絡をする場合がありますので、入学試験当日まで登録したメールアドレスのメール受信確認および電話連絡がつくようにしておいてください。
15. 感染症対策の観点から試験実施時期における感染症の流行状況等を踏まえ、以下の内容についてご協力ください。
 - ①試験場内（試験室や面接待機室等）では適宜、空気の入れ替えを行う場合があります。
 - ②試験場内に設置されている手指消毒液等の利用や、手洗い等を適宜ご利用ください。
 - ③その他感染拡大防止に関する試験場内での措置等にご協力ください。

受験当日における対応

本学は、入学試験の実施に際し、公平で良好な受験環境の保持に最大限努めますが、やむを得ず以下のような対応を取る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 不測の事態（地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延、校内施設の故障等）の発生により、試験開始時刻の繰り下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、そのための休憩時間の調整などの措置をとることがあります。その場合、本学の責によらない不可抗力による事故等であることが明らかな場合は、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
2. 試験室内の設備（机、いす、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮しません。
3. 試験時間中に日常的な生活騒音が発生した場合でも、特別な救済措置は行いません。
例：緊急車両のサイレン、風雨・雷鳴、動物の鳴き声、空調や照明など設備が発する音、咳やくしゃみ など
4. 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な打合せや指示、説明、巡回を行うことで生じる音等に対する申し出には一切応じません。
5. 特定の受験者の行為が、他の受験者に迷惑であると試験監督者が判断した場合は、受験の中止や別室受験等の指示を講じることがあります。

STAGE 4 合格発表

発表方法

〔郵送通知〕

合格者には合格発表日に合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで発送します。不合格者には通知書を送付しませんので、あらかじめご了承ください。

〔インターネット合否照会〕

本学の公式な合格発表は、合格通知書の発送によるものとしますが、合格発表の補助手段として、インターネットによる合否照会を合格発表日の午前10時から行います。掲載期間は合格発表日から入学手続締切日までです。

※合格発表の学内掲示は行いません。また、合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

※本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

インターネット合否照会

合否照会サービスの利用期間

各試験合格発表日の午前10時から入学手続期限日まで

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで合否照会ページにアクセス (※本学Webサイトからもアクセスできます)

<https://sak-sak.net/app/pass/nua/>



(スマートフォン用)

2

受験番号と生年月日の入力 (イメージ)

受験番号と生年月日を入力し、
「合否照会」ボタンをクリックしてください。

3

合否の確認

【合格の場合】

【不合格の場合】

注意事項等

- ・利用時間は各種試験別ごとに定めてあり、期間外には見ることはできません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くなりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・操作方法ならびに合否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
- ・パソコン等のブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- ・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

【合否照会について】 ●当サービスでの合否照会は速報であり、合格者には本人宛に正式な合格通知書を送付します。
●本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認められません。

追加合格

1. 本学は、入学手続者が入学予定者数に達しない場合に、入試の成績結果により追加合格を発表する場合があります。追加合格者の発表方法は、原則として対象者に電話連絡をもって行います。
2. 追加合格者には、合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで郵送します。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書とともに送付する書類を参照してください。
4. 追加合格については、本学Webサイトや学内掲示等による発表は行いません。また、追加合格の合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

STAGE 5 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学に必要な手続書類一式を送付します。それぞれの手続書類に従って入学手続を行ってください。なお、学納金納入期限は「入試日程」に記載されている「入学手続締切日」のとおりです。期日までに納入手続を完了してください。完了されていない場合は、入学辞退とみなします。

入学手続を完了された方に「入学許可書」を発送します。「入学許可書」は、入学手続完了後に1週間程度で発送を予定しています。

学納金

(2027年度入学者用／単位:円)

学部・学科・領域	コース	入学金	前期納付金				後期納付金				初年度納付金合計
			授業料	教育充実費	施設設備費	合計	授業料	教育充実費	施設設備費	合計	
芸術学部 芸術学科	下記以外のコース	200,000	662,500			982,500	662,500			982,500	2,165,000
	プロフェッショナルアーティスト		795,000			1,115,000	795,000			1,115,000	2,430,000
	音楽領域										
	ウインドアカデミー		530,000	220,000	100,000	850,000	530,000	220,000	100,000	850,000	1,900,000
	ミュージックエンターテインメント・ディレクション/ 声優アクティング/ダンスパフォーマンス		400,000			720,000	400,000			720,000	1,640,000
	音楽ケアデザイン		612,500			932,500	612,500			932,500	2,065,000
	舞台芸術領域										
	すべてのコース		450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
	美術領域										
	すべてのコース		450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
	デザイン領域										
	下記以外のコース		450,000	270,000	100,000	820,000	450,000	270,000	100,000	820,000	1,840,000
	文芸・ライティング		350,000	250,000	100,000	700,000	350,000	250,000	100,000	700,000	1,600,000
	芸術教養領域										
	リベラルアーツ		350,000	250,000	100,000	700,000	350,000	250,000	100,000	700,000	1,600,000
教育学部 子ども学科		200,000	350,000	200,000	100,000	650,000	350,000	200,000	100,000	650,000	1,500,000

※入学金および前期納付金は入試日程の「入学手続締切日」までの納付が必須となります。後期納付金は2027年10月初旬に別途、納入案内があります。

その他の納付金

(2027年度入学者用／単位:円)

学部・学科・領域		同窓会費 (入学時のみ納付)	学生教育研究災害 傷害保険料 (入学時のみ)	学生教育研究賠償 責任保険料 (入学時のみ)
芸術学部 芸術学科	音楽領域	29,000	3,300	1,360
	舞台芸術領域	29,000		
	美術領域	30,000		
	デザイン領域	30,000		
	芸術教養領域	29,000		
教育学部 子ども学科		20,000		

※同窓会費及び保険料については2026年6月現在の金額になります。
詳細は入学手続時の書類にて、ご案内します。

奨学金

(2027年度入学者用)

奨学金制度の名称		奨学金の内容	
本学独自の奨学金 (返還の義務なし)	学費減免制度*	対象	経済的理由により修学援助を必要とする学業成績、人物ともに優れた者。第2学年以上の在学学生(50名以内)
		形態	当該学年の授業料の30万円を減免
	緊急奨学金*	対象	名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学の正規課程に同時期に在学する兄弟姉妹の学生のうち最も高い授業料の1人
		形態	当該学年の授業料の2分の1を減免
	入学金免除奨学金制度*	対象	保護者の急変により学費支弁が困難になった学生
		形態	当該学年の授業料の2分の1を減免する。減免は1学生に付き1回限り
		対象	①入学する者の父、母又は子が大学院等(名古屋芸術大学短期大学部を含む)の修了生または卒業生の場合 ②名古屋音楽学校の専攻コースまたは特別研究コースに、原則として大学院等の入学年度前5年以内に通算1年以上在籍した修了生 ③名古屋芸術大学開講の生涯学習講座等修了生で学長が認めた者
	形態		入学手続時に納入した入学金を減免
※ 学費減免・奨学金制度の利用にあたっては、入学後、所定の期間内に、各自で申請手続きを行う必要があります。			
【貸与型奨学金】独立行政法人日本学生支援機構奨学金			
公的奨学金等	・第一種奨学金(無利子)	貸与月額	自宅通学者:20,000円 30,000円 40,000円 54,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能) 自宅外通学者:20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能)
		貸与月額	20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 60,000円 70,000円 80,000円 90,000円 100,000円 110,000円 120,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能)
	【給付型奨学金・授業料等減免】高等教育の修学支援新制度		
	・日本学生支援機構給付型奨学金 自宅通学:最高約46万円 自宅外通学:最高約91万円 ・文部科学省授業料減免 最高約70万円(授業料・入学金の免除または減額)		文部科学省 高等教育の修学支援新制度 ホームページ→ https://www.mext.go.jp/kyufu/
【期 間】標準修業年限4年間 【対象者】制度の詳細等は、「文部科学省高等教育の修学支援新制度ホームページ」を参照			



特待生制度

(2027年度入学者用)

入学特待生資格等		対象者の人数	減免額
入学特待生	S	下記の受験結果において、極めて優秀な成績をおさめて合格した者のうち、他の学生の模範となる者であると当該学部長が推挙し、学長が認めた者 〈芸術学部〉 ① 総合型選抜「実技型入学試験」 ② 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入学試験」 ③ ①、②以外で、実技または自己作品やポートフォリオのプレゼンテーションを伴う芸術学部芸術学科の入学試験 〈教育学部〉 ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	最大4年間の 授業料、教育充実費および施設設備費を 全額免除※
	A	下記の受験結果において、極めて優秀な成績をおさめて合格した者のうち、当該学部長が推挙し、学長が認めた者 〈芸術学部〉 ① 芸術学部芸術学科各領域の一般選抜「一般入学試験 前期」 ② 総合型選抜「実技型入学試験」 ③ 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入学試験」 ④ ①～③以外で、実技または自己作品やポートフォリオのプレゼンテーションを伴う芸術学部芸術学科の入学試験 〈教育学部〉 ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	入学初年次の 授業料、教育充実費および施設設備費を 全額免除※
	B	下記の受験結果において、特に優秀な成績をおさめて合格した者のうち、当該学部長が推挙し、学長が認めた者 〈芸術学部〉 ① 芸術学部芸術学科各領域の一般選抜「一般入学試験 前期」 ② 総合型選抜「実技型入学試験」 ③ 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入学試験」 ④ 芸術学部芸術学科各領域の学校推薦型選抜「一般推薦入学試験」 ⑤ 芸術学部芸術学科各領域の総合型選抜(特別枠)「社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験」 ⑥ ①～⑤以外で、実技または自己作品やポートフォリオのプレゼンテーションを伴う芸術学部芸術学科の入学試験 〈教育学部〉 ① 教育学部子ども学科で実施された入学試験	入学初年次の 授業料、教育充実費および施設設備費を 年間 合計50万円に減免※

※「名古屋芸術大学の特待生規程」第7条(特待生の資格失効)に該当する場合は特待生の適用が取り消されることがあります。

入学前教育

名古屋芸術大学では年内に実施する各入試での合格者に対し、入学手続から入学までの期間を有意義に過ごしていただき、新たな大学での生活に対する不安の解消および入学後に専攻する分野の基礎等を学び体験することで、大学の学びへ円滑に移行できるようにすることを目的として、入学前教育を実施します。

※スクーリングは欠席されても、入学にあたって不利益等は一切ありません。

※課題内容等の詳しい内容は合格者に通知します。

入学辞退について

入学手続後に入学を辞退する場合は、広報部学生募集チームまでご連絡ください。

入学辞退に係る手続きをご案内いたします。(ただし、専願の入試区分で合格の方を除く)

なお、納付された入学金は返還しません。

入学金以外の納付金については、入学辞退に係る手続きにより返還します。

入学辞退申出期限：2027年3月31日(水) 15:00 まで

新入生の学籍取得期日

新入生の学籍取得期日は、2027年4月1日(木)となります。

入学試験概要

出願資格

出願書類について

外国人留学生の方へ

【総合型選抜】

体験授業型入学試験

自己PR型入学試験(活動評価型) ※学内併願可

自己PR型入学試験(未来評価型) ※学内併願可

実技型入学試験

科目選択型入学試験

プロフェッショナルアーティスト入学試験 ※音楽領域のみ

【学校推薦型選抜】

一般推薦入学試験

【一般選抜】

一般入学試験

大学入学共通テスト利用入学試験

教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験 ※教育学部のみ

【総合型選抜(特別枠)】

社会人&シニア入学試験

海外帰国生徒入学試験

外国人留学生入学試験

3年次編入学試験

実技内容

(総合型選抜 実技型入学試験、学校推薦型選抜 一般推薦入学試験、一般選抜 一般入学試験、総合型選抜(特別枠))

名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表

「プラスα加点」について

採点基準・評価の観点等

出願資格

- **総合型選抜：体験授業型入学試験、自己PR型入学試験（活動評価型）、自己PR型入学試験（未来評価型）、実技型入学試験、科目選択型入学試験、プロフェッショナルアーティスト入学試験**
- **一般選抜：一般入学試験、大学入学共通テスト利用入学試験**

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程を含む）および特別支援学校高等部を卒業した者、または高等専門学校の3年次を修了した者、もしくは2027年3月にこれらを卒業または修了見込みの者
 2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2027年3月修了見込みの者
 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2027年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの
- ※ 総合型選抜においては、「留学」の在留資格を有する者は出願できません。
ただし、上記の1または2を満たす者については、この限りではありません。
- ※ 大学入学共通テスト利用入試においては、上記の1～3のいずれかを満たし、かつ「令和9年度大学入学共通テスト」の教科（科目）で、本学が指定した教科（科目）を受験した者のみ出願できます。
- ※ (6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL：0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。

● 学校推薦型選抜：一般推薦入学試験

日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程を含む）および特別支援学校高等部を卒業した者、または高等専門学校の3年次を修了した者、もしくは2027年3月にこれらを卒業または修了見込みの者で、学業成績優良で出身学校長の推薦を受けた者

● 総合型選抜(特別枠)：社会人&シニア入学試験

2027年4月1日現在、満23歳以上の者で社会人として3年以上の経験を有しているもので、下記の1～3のいずれかを満たし、かつ下記4の資格を満たす者

1. 日本国内における高等学校（中等教育学校後期課程を含む）および特別支援学校高等部を卒業した者、または高等専門学校の3年次を修了した者
 2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者
 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程（修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2027年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ※ (6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL：0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。
4. 外国人留学生に該当しない者
- ※ ここで言う「外国人留学生」とは〔留学〕の在留資格により、日本国内の教育施設・教育機関で教育を受ける外国人学生を指します。

● 総合型選抜(特別枠): 海外帰国生徒入学試験

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者とともに2年間以上海外に在住し、外国の学校教育を受けた者で、下記の1～4のいずれかを満たす者

1. 外国において、学校教育における12年の課程を2025年4月1日から2027年3月31日までに修了（見込み）の者
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に2025年または2026年に合格した者
3. 外国において、下記のいずれかの資格を2025年または2026年に取得した者
 - (1) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (2) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBISの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者（CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても可。）
 - (3) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
4. 本学において個別の入学審査により、高等学校の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 3及び4で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL：0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。

● 総合型選抜(特別枠): 外国人留学生入学試験

下記の1～5のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能なる者（特別永住者を除く）
2. 2027年4月1日までに、満18歳に達する者
3. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了（卒業）した者および2027年3月31日までに修了（卒業）見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者
 - (4) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBISの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者（CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても可。）
 - (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
 - (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者
※ (6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム〔TEL：0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。
4. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
5. 次のいずれかの基準を満たしている者

※ 試験結果は、2024年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。

- (1) 日本語能力試験（JLPT）の「N1」または「N2」に合格している者
- (2) 日本留学試験（EJU）【科目：日本語】において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
- (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者
- (4) JPT日本語能力試験において、525点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

● 総合型選抜(特別枠)：3年次編入学試験

下記の1～7のいずれかを満たす者で、本学第3年次への編入学を希望する者

1. 日本の大学に2年以上在学（休学・停学期間を除く）し、62単位以上を取得した者および2027年3月末日までに大学に2年以上在学（休学・停学期間を除く）し、62単位以上取得する見込みの者（本学在学者は除く）
2. 日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者および2027年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
3. 日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者および2027年3月末日までに卒業見込みの者
4. 学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程（修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であるものに限り）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限り）および2027年3月末日までに修了見込みの者
5. 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者および2027年3月末日までに修了見込みの者
6. 外国の短期大学を卒業した者または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限り）および2027年3月末日までに修了見込みの者
7. 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること。その他文部科学部大臣の定める基準を満たすものに限り）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限り）および2027年3月末日までに修了見込みの者

出願書類について

提出書類		説明内容
(1)	出願確認票	インターネット出願登録完了後に表示される「出願確認票」を印刷してください。 ※大学入学共通テストの成績を反映する入試は、令和9年度大学入学共通テスト成績請求チケット(私立大学用)を切り取って出願確認票に貼り付けてください。
(2)	調査書	全体の学習成績の状況の記載があり、出身学校長が証明、厳封したものを提出してください。 ※調査書の提出は内容に変更なければ併願、複数回の出願の場合でも1人1通で結構です。 ※卒業見込みの者については、高等学校および中等教育学校において 出願期間開始前3か月以内に作成されたもの ※高等学校卒業認定試験合格者(大学入学資格検定合格者含む)は、調査書に替えて検定合格証明書および合格成績証明書を、同試験合格見込み者は、成績の記載された合格見込成績証明書を提出してください。 免除科目のある場合は、高等学校の成績証明書等、免除科目を証明できる書類を添付してください。 ※調査書が発行されない場合は、卒業証明書を提出してください。 ※外国の学校を卒業した場合は、①卒業(見込)証明書、②成績証明書を提出時に郵送してください。
(3)	大学入学志望理由書(様式1)	総合型選抜「実技型入試」「科目選択型入試」、「プロフェッショナルアーティスト入試」、学校推薦型選抜、総合型選抜(特別枠)に出願する場合は、「大学入学志望理由書」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。 なお、総合型選抜「科目選択型入試」に出願する場合は、「2027年度学生募集要項」に掲載される各学科領域で設定された「事前テーマ」に沿った内容で記入してください。
(4)	体験授業レポート(様式2)	総合型選抜「体験授業型入試」にエントリーする場合は「体験授業レポート」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。
(5)	自己PRシート(活動評価型)(様式3-1)	総合型選抜「自己PR型入試(活動評価型)」に出願する場合は「自己PRシート(活動評価型)」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。
(6)	自己PRシート(未来評価型)(様式3-2)	総合型選抜「自己PR型入試(未来評価型)」に出願する場合は「自己PRシート(未来評価型)」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。
(7)	活動報告書(様式4)	総合型選抜「自己PR型入試(活動評価型)」に出願し、プラスα加点を希望する場合は「活動報告書」を提出してください。 一般選抜「一般入試(前期)」に出願し、「学科試験(英語)」を受験する場合に、CEFR基準のスコアを保持する者で、所定の配点を付し「学科試験(英語)」の受験免除を希望する場合は、「活動報告書」を提出してください。 総合型選抜「プロフェッショナルアーティスト入試」及び一般選抜「一般入試」において、プロフェッショナルアーティストコースに志願する場合は「活動報告書」を提出してください。(必須) 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。 また、第三者により作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。
(8)	教育学部資格取得報告書(様式5)	教育学部子ども学科を志願先として総合型選抜「自己PR型入試(活動評価型)」 「科目選択型入試」に出願し、本学が指定する資格を取得している方で「入学特待生S」の選考を希望する場合は、「教育学部資格取得報告書」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。 また、第三者により作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。
(9)	推薦書(様式6)	学校推薦型選抜「一般推薦入試」に出願する場合は、「推薦書」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、出身学校長が作成、厳封したものを提出してください。
(10)	実技曲目記入用紙(様式7)	音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合は「実技曲目記入用紙」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。
(11)	作品提出記入用紙(様式8)	音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合は「作品提出記入用紙」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。
(12)	声楽曲伴奏楽譜	音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合は、「実技内容」ページを参考に「声楽曲伴奏楽譜」を作成し、提出してください。
(13)	事前提出課題・作品等	志願先学科・領域における選抜方法により提出を必要とする場合は、指定された課題および作品等を作成のうえ、提出してください。
(14)	最終学歴の卒業(見込)証明書	総合型選抜(特別枠)に出願する場合は、出願資格を証明し得る最終学歴の卒業(見込)証明書の原本を提出してください。 ・開封無効
(15)	最終学歴の成績証明書	総合型選抜(特別枠)に出願する場合は、最終学歴の成績証明書の原本を提出してください。 ・開封無効 ・卒業後大学等で単位を修得した場合は、その証明書
(16)	履歴書(様式9)	総合型選抜(特別枠)に出願する場合は、「履歴書」を提出してください。 本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを、必要項目を記入してください。

外国人留学生の方は、この他にも提出書類がありますので、「外国人留学生の方へ」の提出書類も併せてご確認ください。

〈その他の注意事項〉

- 日本語または英語以外の証明書などには、必ず日本語の翻訳を添付してください。
- 提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- 出願後における受験する学科領域コースの変更は一切認めません。
- 出願確認票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、改姓を証明する公的な書類を添付してください。
- 出願書類の記入に際しては、原則黒のボールペン(インク)を使用し、自筆で記入してください。

名古屋芸術大学所定様式のダウンロードはこちら
www.nua.ac.jp/examinee/entrance/



外国人留学生の方へ

「外国人留学生入試」出願者に限らず、「留学」の在留資格をもって本学学部 に在籍する予定の方全員に対する共通事項です。

出願資格

以下の①～⑤の条件をすべて満たしている者

1年次入学		3年次編入学	
①	日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者		
②	2027年4月1日までに、満18歳に達する者	②	2027年4月1日までに、満20歳に達する者
③	出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者		
④	次のいずれかに該当する者 (1)外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了（卒業）した者および2027年3月末日までに修了（卒業）見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学省の指定した者 (2)外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者 (3)外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかを保有する者 (4)国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBISの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2027年3月末日までに修了見込みの者（CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者についても可。） (5)上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者 文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者 (6)本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者	④	次のいずれかに該当する者 (1)日本の大学に2年以上在学（休学・停学期間を除く）し、62単位以上を取得した者および2027年3月末日までに大学に2年以上在学（休学・停学期間を除く）し、62単位以上取得する見込みの者（本学在学者は除く） (2)日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者および2027年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者 (3)日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者および2027年3月末日までに卒業見込みの者 (4)学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程（修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であるものに限る）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）および2027年3月末日までに修了見込みの者 (5)外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者および2027年3月末日までに修了見込みの者 (6)外国の短期大学を卒業した者または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（学校教育法第90条第1項に規定するものに限る）および2027年3月末日までに修了見込みの者 (7)高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定するものに限る）および2027年3月末日までに修了見込みの者
⑤	表1に記載されている「受験時に必要な日本語能力」のいずれかの基準を満たしている者 ※試験結果は、原則2024年4月1日以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。		

表1 受験時に必要な日本語能力

	試験名	必要スコア(下記の成績以上)
1	日本語能力試験 (JLPT)	[N1] または [N2]
2	日本留学試験 (EJU)	[科目:日本語]において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上
3	BJTビジネス日本語能力テスト	400点以上
4	JPT日本語能力試験	525点以上

提出書類

外国人留学生の方は、**各入試に必要な出願書類と併せて**以下の書類を提出してください。

	書 類	備 考
①	大学入学志望理由書 (様式1)	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。
②	日本語能力を証明する書類 以下より、いずれかひとつを提出してください。 (1) 日本語能力試験 (JLPT):「認定結果および成績に関する証明書」 (2) 日本留学試験 (EJU):「成績確認書」 (3) BJTビジネス日本語能力テスト:「成績認定書」 (4) JTP日本語能力試験:「成績証明書」	・日本語能力試験 (JLPT) の「認定結果および成績に関する証明書」は発行に時間がかかるため、出願時に間に合うよう余裕をもって発行手続きを行ってください。原本(コピー不可) ・日本留学試験 (EJU) の「成績確認書」は「EJUオンライン」から印刷したものを提出してください。 ・BJTビジネス日本語能力テストの「成績認定書」は専用サイトから印刷したものを提出してください。 ・JTP日本語能力試験の「成績証明書」は発行に時間がかかるため、出願時に間に合うよう余裕をもって発行手続きを行ってください。原本(コピー不可)
③	履歴書 (様式9)	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。 ※小学校から現在に至るまでの全ての学歴及び職歴その他の経歴(無職の期間や日本国内の日本語学校、専門学校等の在籍歴がある場合にはこれらを含む。)を途切れなく記載してください。
④	出身学校 (高等学校・大学等) の卒業 (見込) 証明書	原本に限る(コピー不可) ※卒業証書の写しでも可(志願者が原本証明したもの) 成績証明書と一体になっている書類の場合は、提出不要です。
⑤	出身学校 (高等学校・大学等) の成績証明書 ・証明書の原本を提出してください。(コピー不可) ・日本語または英語表記のものに限ります。 <u>日本語・英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳を原本と一緒に提出してください。</u>	【高等学校を卒業しておらず、外国において大学入学資格検定に合格している場合】 ・大学入学資格検定に合格している方は、合格証明書と成績証明書を提出してください。 ・高等学校を中途退学の場合、高等学校在籍時の成績証明書も併せて提出してください。 【自国の正規の教育制度により、初等／中等教育を受けた期間が12年に満たない場合】 ・学校の卒業証明書と成績証明書に加えて、文部科学大臣の指定した準備教育課程の修了 (見込) 証明書と成績証明書を提出してください。
⑥	日本語学校、専門学校等の(1)～(3)の証明書 <u>(該当者のみ)</u> (1) 卒業(見込)証明書または在籍証明書 (2) 成績証明書 (3) 出席証明書	原本に限る(コピー不可) 日本国内の学校(日本語学校、専門学校等)に在籍中または在籍歴がある場合は、「履歴書(様式9)」に記載した全ての学校の書類を提出してください。 ・(3)出席証明書は、出席率の記載があり、総出席率が80%以上であるものに限る。なお、月別の出席率が80%に足りない月がある場合は、理由書を併せて提出すること。
⑦	身分を証明する書類 (1) 在留カードの写し (2) パスポートの写し	・在留カードは、両面必要です。A4サイズ用紙にコピーをしてください。 ・パスポートの身分事項(氏名、顔写真、生年月日、国籍、パスポートの有効期限等)が記載されているページをA4サイズ用紙にコピーしてください。 ※日本に在留していない方は、在留カードの写しは不要です。
⑧	留学費用支払いに関する証明書 (1) 経費支弁書 (様式10) (2) 経費支弁者の提出書類 ※経費支弁書(様式10の2ページ目)に記載の「経費支弁者提出用書類チェック表」を参照	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を日本語で記入してください。 署名欄は、経費支弁者が自署してください。 ※その他の項目は、受験者が記入しても可。
⑨	結核非発病証明書	在外の受験者で、フィリピン・ネパール・ベトナムから入国する者
⑩	提出書類チェックリスト (様式11)	本学Webサイトより所定の様式をA4サイズに印刷したものをを用いて、必要項目を記入してください。全ての書類が整っていることを確認のうえ併せて提出してください。

※提出された書類は返却しません。 ※提出書類の内容を確認するために、第三者(大使館、出身学校、日本語学校等)に確認することがあります。

※婚姻等の事情により証明書と姓が異なる場合は証明できる書類を提出してください。

在留資格「留学」について

日本に在留している場合 ※日本に在留資格「短期滞在」で在留している場合を除く

本学入学までに在留期間が満了する方は入学前に速やかに各自で更新手続きを行ってください。

日本に在留していない場合 ※日本に在留資格「短期滞在」で在留している場合を含む

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方は、入学手続と併せて、在留資格認定証明書交付申請が必要です。

名古屋芸術大学が、入学予定者の代理人として交付申請を行います。詳細については、合格者への案内文書「入国手続きに関するご案内」で確認してください。

※原則として、本学入学時までに入学に支障のない在留資格を有していない場合は、入学許可を取り消します。

[お問い合わせ先] 広報部学生募集チーム TEL:0568-24-0318 TEL(海外から): +81-568-24-0318 E-mail: ml-nua@nua.ac.jp

入学試験概要

【専願】 体験授業型入学試験〈1期のみ〉

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

体験授業型入学試験は、エントリー時に提出された「体験授業レポート」および出願時に提出された「調査書」から「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」等を総合的に評価し、学内で選考する「専願」の入学試験方式です。

※ 総合型選抜1期（自己PR型入試、実技型入試）との併願可能

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

<エントリー時>

①エントリー確認票 ②体験授業レポート(様式2)

<出願時>

①出願確認票 ②調査書 ③出願許可書

選抜方法

全学部 全学科 全領域

コース	選抜方法
全コース 音楽領域プロフェッショナル アーティストコースを除く	体験授業レポート*(300点) 体験授業レポート項目 ① 体験授業内容の理解と学び(100点) ② 制作・体験授業への取り組みと工夫(100点) ③ 振り返りと発展(100点)

※ 調査書を参考資料とする。

選抜方法の流れ

		1回目	2回目
1 体験授業	①体験授業受講申込 本学Webサイトから申し込みを行ってください。 ※体験授業型入学試験にエントリーする場合は、1回目または2回目のいずれかの日程で体験授業の受講が必須となります。	申込期間 2026年7月1日(水)～7月12日(日)	申込期間 2026年9月1日(火)～9月6日(日)
	②体験授業受講 受講日の3日前までに「受講票」をメールで送付します。 受講日に受講票に記載の集合場所・集合時間をご確認のうえ、お集まりください。 ※受講票は印刷して持参してください。	受講日 2026年7月18日(土)	受講日 2026年9月12日(土)
2 エントリー	③エントリー登録 出願サイトからエントリー登録を行ってください。 ※開始日10時～最終日17時まで	登録期間 2026年9月1日(火)～9月6日(日)	登録期間 2026年9月15日(火)～9月20日(日)
	④エントリー書類提出 出願書類(エントリー時)を右記期限までに郵送してください。※消印有効	提出期限 2026年9月7日(月)	提出期限 2026年9月21日(月)
	⑤出願可否発表 提出された「体験授業レポート」を評価し、右記発表日に出願可否を発表します。 出願許可された方には本人宛に出願許可書を送付します。出願許可された方は、出願をすることができます。	出願可否発表日 2026年9月16日(水)	出願可否発表日 2026年9月30日(水)
ここからは出願(専願制)となります。出願登録の際に入学検定料がかかります。			
3 出願	⑥出願登録 出願サイトから出願登録を行ってください。 ※開始日10時～最終日17時まで 注) 出願許可されたコース以外で出願することはできません。(コース変更不可)	登録期間 2026年10月1日(木)～10月9日(金)	
	⑦出願書類提出 出願書類(出願時)を右記期限までに郵送してください。 ※消印有効	提出期限 2026年10月10日(土)	
	⑧受験票ダウンロード 出願サイトから受験票をダウンロードしてください。 ※右記の受験票取得可能日の10時から	受験票取得可能日 2026年10月14日(水)～	
	⑨選抜(学内選考) エントリー時に提出された「体験授業レポート」の評価および「調査書」を参考資料として可否の判定を行います。	選考日(来学不要) 2026年10月17日(土)	
	⑩合格発表 「出願から入学手続まで」の「STAGE4 合格発表」を参照	合格発表日 2026年11月3日(火)	

体験授業受講申込から出願までの流れ

体験授業受講申込

- ①体験授業型入学試験「体験授業受講申込フォーム」にアクセス
 本学Webサイトからアクセスしてください。(URL: <https://entry.s-axol.jp/nua/?f=128>)
- ②受講者情報の登録および体験授業の選択
 フォームに従って、受講者情報の登録と受講を希望する学科・領域・コースと体験授業の組み合わせを選択してください。



体験授業受講

受講日は「受講票」に記載された集合場所・集合時間をご確認のうえ、お集まりください。
 「受講票」は受講日の3日前(1回目:2026年7月15日(水)、2回目:2026年9月9日(水))までに受講申し込み時に登録されたメールアドレス宛に送付します。
 体験授業には、各学部学科領域で指定された持参物と「受講票」を持参してください。

インターネットエントリー登録

- ①インターネットで出願サイトにアクセス (URL)<https://sak-sak.net/app/nua/>
 本学Webサイトからアクセスしてください。

〈出願サイト〉



- ②試験情報の登録
 「体験授業型入学試験(エントリー)」
 (エントリーから志願先等を登録します。)

登録したメールアドレス宛に届く確認用メールを必ず確認してください。
 (入学までこの登録メールアドレスは使用します。)

- ③志願者情報の登録

氏名・住所・電話番号等を登録します。※**顔写真データのアップロードが必要です。**(JPEGデータを事前にご用意ください。)

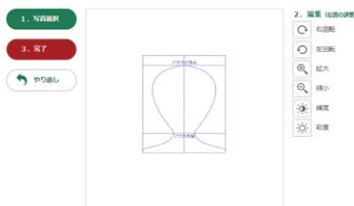
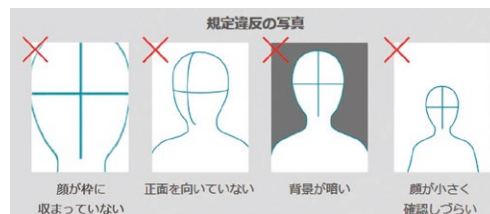
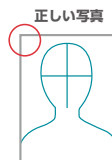
- ユーザID (半角英数字8文字以上。入力したメールアドレスをIDとすることもできます。)
- パスワード (半角英数字併せて8文字以上。)

※ユーザID・パスワードは「出願状況確認」「受験票ダウンロード」等で必要となりますので忘れないように各自で管理してください。

- ④顔写真データのアップロード

インターネットエントリー登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、
 事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- ・カラー写真であること



次の1~3の手順で顔写真データのアップロードを行ってください。

1. 写真選択
 写真データ(JPEG形式)を選択してください。
2. 編集(位置の調整)
 上記規定のとおりレイアウト枠内(アタマの頂点とアゴの先端)に収まるように、左右回転/拡大縮小/輝度/彩度を調整してください。
3. 完了
 調整が完了したら、「3.完了」ボタンをクリックしてください。

- ⑤出願書類(エントリー時)の送付

エントリー登録後に印刷した「送付ラベル」を使用し、「エントリー確認票」、「体験授業レポート(様式2)」を角2サイズ以上の封筒で郵送します。

出願可否発表

1 発表方法

【インターネット出願可否照会】

出願可否発表は本学Webサイトにて行います。インターネットによる出願可否照会システムで出願可否発表日の午前10時から行います。掲載期間は出願可否発表日午前10時から10月9日(金)17時までです。

※出願可否発表の学内掲示は行いません。また、出願可否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

2 インターネット出願可否照会

出願可否照会サービスの利用期間

出願可否発表日の午前10時から2026年10月9日(金)まで

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで出願可否照会ページにアクセス

(※本学Webサイトからもアクセスできます)

<https://sak-sak.net/app/pass/nua/>

(スマートフォン用)

2

受講番号と生年月日の入力

【イメージ】

受講番号と生年月日を入力し、
「出願可否照会」ボタンをクリックしてください。

3

出願可否の確認

【許可の場合】

【不可の場合】

注意事項等

- ・期間外には見ることはできません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・操作方法ならびに出願可否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
- ・パソコン等のブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- ・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

【出願可否照会について】 ●当サービスでの出願可否照会は速報であり、許可者には本人宛に正式な許可通知書を送付します。
●本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした出願手続きの遅れは認められません。

出願登録

出願サイトにおいて、エントリー登録時に使用したユーザIDとパスワードを利用して、
「出願開始(ユーザ登録済の方)」から出願登録をしてください。

出願開始

初めての出願または
ユーザ未登録の受験生

初めて出願を行う方は利用案内を確認の上、
出願手続きを行ってください。

出願開始

ユーザ登録済の受験生用

ユーザ登録済の方は、以下にユーザID・パスワードを
入力し、出願または出願状況確認を行ってください。

ユーザID
パスワード

出願状況確認

出願開始
(ユーザ登録済の方)

ユーザIDを忘れた方はこちら
パスワードを忘れた方はこちら

体験授業詳細

芸術学部 芸術学科 音楽領域

① 声楽コース

授業内容	7/18 世界に 1 つの「楽器」を最大限に響かせる、呼吸と発声の基礎トレーニング 声楽を学ぶ上で最も大切なことは、自分自身の身体を1つの「楽器」として整えることから始まります。この授業では、プロも実践する呼吸法や共鳴の基礎をじっくりと体験しましょう。一人ひとりの個性を引き出すアドバイスを通じて、自分の声が豊かに変化していくプロセスを体感してください。声楽の経験がなくても、歌うことが好きな方なら大歓迎です。これから、あなただけの唯一無二の響きを一緒に磨いていきましょう。 体験授業時間 45分	9/12 「歌」に心を吹き込もう！自分らしい表現を見つける体験レッスン 「どうすればもっと魅力的に歌えるかな?」という疑問を、楽しさに変えるひと時です。歌詞の言葉を大切に響かせるコツや、表情豊かな歌い方を分かりやすくアドバイスします。本格的に習ったことがなくても大丈夫。あなたが選んだ一曲を通して、自分でも気づかなかった「新しい声の魅力」を一緒に見つけましょう。音楽で自分を表現する喜びを、ぜひこの機会に体感してください。 体験授業時間 45分
持ち物	・筆記用具 ・飲み物 ・歌いたい曲の楽譜(本人用・伴奏用の計2部)	・筆記用具 ・飲み物 ・歌いたい曲の楽譜(本人用・伴奏用の計2部)
服装	動きやすい服装	動きやすい服装
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)取り組み姿勢と熱意：アドバイスを真摯に受け止め、前向きに挑戦しようとする姿勢。 (2)変化と適応力：授業内での対話や指導を通じて、自分の課題に気づき改善しようと試みるプロセス。 (3)探究心と意欲：声楽という芸術を学びたいという意志や積極性と、他者と協調しようとするコミュニケーション能力。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)取り組み姿勢と熱意：アドバイスを真摯に受け止め、前向きに挑戦しようとする姿勢。 (2)変化と適応力：授業内での対話や指導を通して、自分の課題に気づき改善しようと試みるプロセス。 (3)探究心と意欲：声楽という芸術を学びたいという意志や積極性と、他者と協調しようとするコミュニケーション能力。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

② 鍵盤楽器コース(ピアノ)

授業内容	7/18 ピアノ表現の基礎を体験する 個別レッスン形式で、正しい姿勢やタッチ、音の出し方などピアノ演奏の基礎を体験します。受験生が選択した楽曲を用い、レッスンを通じて演奏の変化を実感できる内容です。あわせて簡単な初見演奏にも取り組みます。ピアノ経験が浅い方でも安心して参加でき、音楽を学ぶ楽しさと自身の可能性を感じられる授業です。 体験授業時間 45分	9/12 音楽表現を深めるピアノ実践 受験生が選択した楽曲を用い、表現の工夫や音色の違いを体験する授業です。あわせて簡単な初見演奏にも取り組みます。大学での専門的な学びの一端を体験しながら、音楽的コミュニケーションの大切さを実感できます。ピアノ経験が浅い方でも安心して参加でき、一人ひとりの今後の可能性を引き出します。 体験授業時間 45分
持ち物	・筆記用具 ・楽譜	・筆記用具 ・楽譜
服装	自由(演奏しやすい服装、少しフォーマルなものが望ましい)	自由(演奏しやすい服装、少しフォーマルなものが望ましい)
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)課題への取り組み姿勢 (2)指導内容の理解力 (3)音楽表現への興味関心 (4)改善しようとする姿勢 (5)コミュニケーション力	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)課題への取り組み姿勢 (2)指導内容の理解力 (3)音楽表現への興味関心 (4)改善しようとする姿勢 (5)コミュニケーション力

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

③鍵盤楽器(電子オルガン)コース

授業内容	7/18 電子オルガンの基礎的な奏法を体験する	9/12 電子オルガンの表現力を追求する
持ち物	筆記用具・USBメモリ(自分が演奏する曲のデータの入ったもの)・楽譜(自分用)・楽譜コピー(教員用)	筆記用具・USBメモリ(自分が演奏する曲のデータの入ったもの)・楽譜(自分用)・楽譜コピー(教員用)
服装	演奏しやすい服装	演奏しやすい服装
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)授業を受ける姿勢 (2)音楽表現への興味 (3)コミュニケーション力 (4)指導内容の理解力	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)授業を受ける姿勢 (2)音楽表現への興味 (3)コミュニケーション力 (4)指導内容の理解力

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

④弦管打コース

授業内容	7/18 9/12 プロの指導による実技体験レッスン
持ち物	・専攻楽器 (大型楽器は大学で貸し出し可。但しマウスピースやリードは持参の事) ・実演演奏する譜面 ・筆記用具
服装	普段着でも可
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)楽曲の上達度 (2)楽器演奏の技術 (3)適応力 (4)理解力

⑤ウインドアカデミーコース

授業内容	7/18 9/12 管楽器リペア体験
持ち物	ウインドアカデミーコースの授業で行われている管楽器リペアを体験。空間認知の問題を解いたり、簡単な楽器の組み立てを行う。 体験授業時間 45分
服装	普段着でも可
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)授業を受ける姿勢 意欲的に取り組み、教員とのコミュニケーションをとることができているか。 (2)発想力 柔軟な発想で物事が理解できているか。 (3)理解力 課題内容を理解した上で、作業が指示通りできているか。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

⑥ ポップス・ロック&パフォーマンスコース

授業内容	7/18 9/12 好きなジャンル、得意な楽曲での完成度を高める体験授業
	ヴォーカル、ギター、ベース、ピアノ、ドラム、パーカッション、サックス、トランペット等それぞれの楽器のマイナース1音源により、発表。 (1)ヴォーカル 音程、リズム、ボイストレーニング、歌心等のチェック・レッスン (2)ギター、ピアノ ソロパートのチェック・レッスン (3)ベース、ドラム、パーカッション テンポリズム、グループ等のチェック・レッスン (4)サックス、トランペット等 リフ、セクション、アドリブ等のチェック・レッスン 体験授業時間 45分
	持ち物 ・筆記用具 ・それぞれの楽器 ・マイナース1音源 (スマートフォン、CD)
	服装 自由
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)曲の理解度 (2)最初の発表後、それぞれの楽器の習得や上達 (3)自己の考えやプレゼン、パフォーマンス能力 (4)アドリブの考え方、音楽理論 (5)演奏を楽しんでいるか

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

⑦ ダンスパフォーマンスコース

授業内容	7/18 9/12 ダンスパフォーマンス体験レッスン
	ダンス実技の授業の体験レッスン。 ウォーミングアップとしてストレッチやアイソレーション等を行った後、講師の動きを真似しながら、短い振付を覚えて音楽に合わせて踊る。 身体を使って音楽や感情を表現することを体験する。 体験授業時間 50分
	持ち物 ・ダンスシューズまたは室内用シューズ ・水分補給のための飲み物
	服装 動きやすい服装 (パンツスタイル)
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)授業に取り組む姿勢、意欲 (2)表現力 (3)ダンスの基礎力

⑧ 声優アクティングコース

授業内容	7/18 9/12 夢に向かって自分を磨く体験授業
	声優になるために、まず初めに獲得しなければならない力は演技の基礎能力です。具体的には、話す力、見る力、聞く力、感じる力、あらゆる出来事に対応する力。そしてコミュニケーション力。これらの能力を高めるための基礎訓練を体験してもらいます。 体験授業時間 90分
	持ち物 筆記用具
	服装 動きやすい服装
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)理解力 (2)探究力 (3)コミュニケーション力 (4)集中力 (5)対応力

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

⑨ サウンドメディア・コンポジションコース

授業内容	7/18 9/12 作曲ならびに録音の体験授業
	作曲ならびに録音の体験授業を実施します。作曲の体験授業では、パソコン (Mac) を使用して簡単な音楽制作を行います。録音の体験授業では、録音方法の事例とレコーディングスタジオの機能を学びます。実際にパーカッションやクラブなどを録音し、録音とミックスがどのように行われているかを体験します。 体験授業時間 140分
	持ち物 筆記用具
	服装 自由
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)学びへの関心・意欲 体験授業の内容を踏まえ、自身の考えを表現する姿勢が見られるか。 新しい視点を取り入れようとする意欲があるか。 (2)自分の作品を客観的に振り返る力 自分が制作した音源を振り返り、それを言葉で説明しようとしているか。 (3)考えを整理する力 音楽とテクノロジーの関係について、自分なりの視点で整理して的確に伝えようとしているか

⑩ ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

授業内容	7/18 9/12 『自分』ではなく『観客』のために。プロの扉を叩く体験授業 コンサート、演劇、ミュージカル、オペラ……。多くの人々を魅了するエンターテインメントの舞台裏では、スタッフが幅広い専門知識を駆使して活躍しています。最高のステージを作るのは、あなた自身の「技術」と「視点」です。コンサートやミュージカルなど、あらゆるエンタメ業界で求められるのは、ジャンルを横断したマルチな知識。今回の体験授業では、音響と照明の基礎に挑戦していただきます。独りよがりの表現に留まらず、「どうすれば観客に最高のパフォーマンスを届けられるか？」というプロの思考で、理想の音と光の演出を形にしてみましょう。 体験授業時間 80分(音響40分/照明40分)
持ち物	筆記用具
服装	動きやすい服装（スカートなど機材に引っかかるような服装はNG）
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 【理解度と探究心（インプット&フィードバック）】 - 単に言われた通りにするだけでなく、技術の「なぜ」を吸収しようとする姿勢。 - 解説した機材の構造や操作手順を正しく理解し、実践できているか。 - 不明点をそのままにせず、解決のために自ら質問や確認を行っているか。 - アドバイスを柔軟に取り入れ、次の操作に反映させているか。 【協調性とコミュニケーション（チームワーク）】 - 舞台制作はチームプレイです。周囲との連携が取れるか。 - 他の参加者と機材を譲り合ったり、声を掛け合ったりして円滑に作業を進めているか。 - 教員やスタッフの指示に対して、ハッキリとした返事やリアクションができていないか。 - 共同作業において、自分の役割だけでなく周囲の状況を把握しようとしているか。 【集中力と瞬発力（テクニカル・実行力）】 本番の「一発勝負」に対応できる集中力と、リズム感。 - 課題楽曲の構成（イントロ、サビなど）を把握し、変化のタイミングに集中できているか。 - 指定された「きっかけ（キュー）」に対して、遅延や迷いなく正確にフェーダーやスイッチを操作できているか。 - ミスがあった際もパニックにならず、即座に次の動作へ切り替えられているか。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

⑪ 音楽ケアデザインコース

授業内容	7/18 好きな音楽の心理的効果を考え、ミニプレゼンを行う。 音楽が人の心や気分にもどのような影響を与えるのかについて、まずミニ講座を通して学びます。そのうえで、自分の好きな音楽を題材に、なぜその音楽が好きなのか、聴くとどのような気持ちになるのかなどを考え、音楽の心理的効果について整理します。最後に、その内容をもとにミニプレゼンテーションを行い、自分の考えを相手にわかりやすく伝える体験をします。 体験授業時間 90分	9/12 音楽療法について知り、簡単なプログラムを立案・実施する。 音楽療法とはどのような支援なのかについて、まずミニ講座を通して基本的な考え方や実践の例を学びます。そのうえで、音楽が人の心や行動にもどのように働きかけるのかを考えながら、簡単な音楽療法プログラムを立案します。最後に、考えたプログラムをもとに模擬セッションを行い、音楽を用いた支援の可能性や人との関わりについて体験的に理解を深めます。 体験授業時間 90分
持ち物	・筆記用具 ・ノート	・筆記用具 ・ノート
服装	特に指定なし	動きやすい服装
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1) 学びへの関心・意欲 ミニ講座の内容を踏まえ、自分なりに考えようとする姿勢が見られるか。新しい視点を取り入れようとする意欲があるか。 (2) 自分の経験を振り返る力 好きな音楽を手がかりに、自分の気持ちや体験を振り返り、言葉で説明しようとしているか。 (3) 考えを整理する力 音楽と気持ちの関係について、自分なりの視点で整理し、筋道立てて伝えようとしているか。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1) 学びへの関心・理解 ミニ講座の内容を踏まえ、音楽療法の考え方を理解しようとする姿勢が見られるか。新しい視点を受け取り、自分なりに考えようとしているか。 (2) 発想・考える力 音楽が人にどのように働きかけるかを考えながら、目的や活動内容を意識してプログラムを構想しようとしているか。 (3) 協働・実践への姿勢 模擬セッションの中で、周囲と関わりながら活動に取り組み、音楽を通して人と関わろうとする姿勢が見られるか。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

⑫ 音楽総合コース

①～⑪までのいずれか1つのコースの体験授業を選択できます。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

体験授業

	7/18 一人芝居から舞台プランをつくろう！	9/12 モノ・身体・空間で舞台をつくろう！
授業内容	上演される一人芝居を鑑賞し、台本を読み解きながら、作品が伝えたいテーマやメッセージについて考えます。そのうえで、どのような観客に届けたい作品なのかを想像し、舞台美術・音響・照明のプランをグループで考えます。劇場空間や舞台備品を使いながらシーンごとの表現を工夫し、最後は全体で共有・調整して一つの舞台作品として発表します。舞台芸術ができるまでを体験するワークショップです。 体験授業時間 270分	舞台芸術作品をつくるうえで大切な「モノ・身体・空間」を意識する身体表現ワークショップを体験します。その後、台本を読み、作品の構成や演出プランをグループで考えます。幾何学的なオブジェを組み合わせで変化する舞台空間をつくり、シーンに合わせた動きや身体表現を工夫しながら物語を立ち上げます。音楽や効果音についても話し合い、最後に一つの作品として発表します。 体験授業時間 270分
持ち物	・筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど） ・メモ用ノート ・昼食	・筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど） ・メモ用ノート ・昼食
服装	汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴（サンダル、ヒール不可）、スカートの長い人は束ねる。	汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴（サンダル、ヒール不可）、スカートの長い人は束ねる。
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)チャレンジする姿勢 作品や台本を読み取り、自分なりの考えを持つことにチャレンジできるか。 (2)発想の柔軟性 レクチャーや対話を生かしながら、プランを柔軟に考えられるか。 (3)理解力 舞台美術・音響・照明の役割を理解し、表現に活かそうとできるか。 (4)コミュニケーション力 グループワークを通して、自分の考えを伝え、他者と協働できるか。 (5)集中力 作品づくりに主体的に取り組み、最後まで集中して参加できるか。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)チャレンジする姿勢 作品や台本を読み取り、自分なりの考えを持つことにチャレンジできるか。 (2)発想の柔軟性 レクチャーや対話を生かしながら、プランを柔軟に考えられるか。 (3)理解力 舞台美術・音響・照明の役割を理解し、表現に活かそうとできるか。 (4)コミュニケーション力 グループワークを通して、自分の考えを伝え、他者と協働できるか。 (5)集中力 作品づくりに主体的に取り組み、最後まで集中して参加できるか。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

芸術学部 芸術学科 美術領域 平面課題または立体課題のいずれかを選択してください。

全コース（平面課題）

授業 内容	7/18 鉛筆で描く1 提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは平面課題「自分の手を描く」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。 体験授業時間（制作時間）180分／（講評）60分	9/12 鉛筆で描く2 提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは平面課題「自分の顔を描く」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。 体験授業時間（制作時間）180分／（講評）60分
	・筆記用具 ・メモ用紙 ・昼食	・筆記用具 ・メモ用紙 ・昼食
	よごれても良い服装で受講してください。	よごれても良い服装で受講してください。
	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力＝テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ちは制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力＝テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ちは制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

全コース（立体課題）

授業 内容	7/18 粘土でつくる1 提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは立体課題「自分の手をつくる」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。 体験授業時間（制作時間）180分／（講評）60分	9/12 粘土でつくる2 提示されたテーマに沿って各自で制作します。テーマは立体課題「自分の顔をつくる」です。制作時間終了後には完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。 体験授業時間（制作時間）180分／（講評）60分
	・筆記用具 ・メモ用紙 ・昼食	・筆記用具 ・メモ用紙 ・昼食
	よごれても良い服装で受講してください。	よごれても良い服装で受講してください。
	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力＝テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ちは制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)表現力＝テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。 (2)美術に対する気持ちは制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

ファンデーション

	7/18 デザインワークショップ 考え方編	9/12 デザインワークショップ 表現編
授業内容	デザインプロセスにおける考え方や発想の仕方を学ぶ授業です。デザイン領域1年次に取り組むファンデーション課題を視野に入れ、テーマに沿った講義とワークを通して理解を深め、考えた内容を作品としてまとめる制作を行います。 体験授業時間 330分 (昼休憩含む)	デザインにおいてアイデアを伝えるために必要な表現方法や基礎的な技術を学ぶ授業です。デザイン領域1年次に取り組むファンデーション課題を視野に入れ、テーマに沿った講義とワークを通して理解を深め、考えた内容を表現としてまとめる活動を行います。 体験授業時間 330分 (昼休憩含む)
持ち物	・筆記用具 ・昼食	・筆記用具 ・昼食
服装	汚れてもよい作業しやすい服装	汚れてもよい作業しやすい服装
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)取り組む姿勢 課題やワークに対して、意欲をもって主体的に取り組もうとする姿勢。 (2)理解と発想の広がり 講義や課題の内容を理解しながら、自分なりの考えや発想を広げてゆく力。 (3)考えを深めるための工夫 出てきたアイデアについて理由を考えたり試したりしながら、考えを深めるための工夫。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)取り組む姿勢 課題や制作に対して、意欲をもって主体的に取り組もうとする姿勢。 (2)表現の工夫 自分の考えやアイデアを、形や方法に表そうとする工夫。 (3)伝えようとする意識 制作した内容を見直ししながら、相手に伝わる形にしようとする意識。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

先端メディア表現コース

	7/18 映像コンテンツ制作のプロセスを体験しよう	9/12 デジタルファブリケーションを活用した企画と設計
授業内容	グループワークを通して、テーマに沿った映像コンテンツの企画を行います。はじめに大学内の観察を行い、テーマに基づいてアイデアを出し合います。次に企画書と絵コンテを制作し、撮影対象や撮影場所を決定します。その後、iPadを用いて写真撮影を行い、写真コンテを作成します。最後に、制作した内容についてプレゼンテーションを行います。 体験授業時間 330分 (昼休憩含む)	グループワークを通して、身近な問題の発見とその解決に向けた企画立案を行います。日常生活で感じている不便さや課題を持ち寄り、グループ内で共有・整理します。その中からテーマを選定し、原因や背景を分析した上で、デジタルファブリケーション工房の機材を活用した解決案を構想します。最後に、設計図や図解を用いて内容を具体的に示します。 体験授業時間 330分 (昼休憩含む)
持ち物	・筆記用具 ・昼食	・筆記用具 ・昼食
服装	作業しやすい服装、動きやすい靴	作業しやすい服装、動きやすい靴
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)協働する姿勢 グループでの活動の中で、周囲と関わりながら積極的に参加しようとする姿勢。 (2)アイデアの展開 観察や話し合いを通して、テーマに沿ったアイデアを広げようとする展開力。 (3)構成と伝え方の工夫 企画や写真コンテを通して、考えた内容を分かりやすく整理しようとする工夫。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)課題への気づき 身近な生活の中から問題や不便さに気づき、それについて考えようとする姿勢。 (2)考えを組み立てる力 原因や背景を整理しながら、解決に向けたアイデアを組み立てようとする思考力。 (3)具体化への工夫 図や設計を通して、考えた内容を具体的な形として示そうとする工夫。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

文芸・ライティングコース

授業内容	7/18 文芸作品のリライト、その組み立ての分析 広く読まれている文芸作品を題材に、他の文体で書き直す実験を行います。この授業では「文体」について学びながら書き方の特徴を捉えます。あわせて、文芸作品がどのように構成されているかを考え、自身の発見を発表し、意見交換を行います。 体験授業時間 330分 (昼休憩含む)	9/12 エッセイのタイトルを検討する エッセイを読み、その内容がタイトルによってどのように受け取られるかを考える授業です。文章を読んだ後、複数のタイトル案を作成し、カードを用いて入れ替えながら比較・検討を行います。最後に、それぞれの考えを発表し、意見交換を行います。 体験授業時間 330分 (昼休憩含む)
持ち物	・筆記用具 ・昼食	・筆記用具 ・昼食
服装	特に指定なし	特に指定なし
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)課題への向き合い方 文章を書くことに対して、粘り強く取り組もうとする姿勢。 (2)発想と構成の工夫 文体の違いを意識しながら、自分なりの工夫をもって文章を組み立てる力。 (3)作品と意見交換への発見 リライトの取り組みと、他の受講者との意見交換をとおして発見したことを書いているか。	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)読み取ろうとする姿勢 文章の内容や意図を丁寧に読み取り、自分なりに考えようとする姿勢。 (2)発想の柔軟さ 文章の内容に対して、さまざまな視点からタイトルを考えようとする思考の柔軟さ。 (3)意見を伝える工夫 自分の考えを言葉にして発表し、他者と共有しようとするための工夫。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

リベラルアーツコース

授業内容	7/18 9/12 「編集」で新しい価値を生み出す：多様なピースから「新しい関係性」をつくる この体験授業では、バラバラなモノやコトをつなぎ合わせて新たな価値をつくり出す「編集」を体験します。アートやデザイン、映画、音楽、マンガなど、多様なジャンル・時代から集まった「ピース」を、自身の視点で自由に組み合わせ、「新しい関係性」を形にします。モノやコトの背景を調べたり、想像を膨らませたりしながら、バラバラな要素を「ひとつのまとまり」に編み直す。今までにないつながりを創造する、芸術教養領域の学びを体験してください。 体験授業時間 180分
持ち物	・筆記用具 (HB程度の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、ボールペン) ・自身の興味関心、視点を表すようなピース (身の回りの小物など) ※何点でも可 ※大学側でもさまざまなピースを用意します。 - なお、7/18と9/12で用意するピースは異なります。
服装	作業およびプレゼンテーションに適した動きやすい服装。 (制服・私服は問いませんが、過度に華美なものや作業を妨げるものは避けてください)
評価ポイント	下記の内容を体験授業レポートにて評価します。 (1)知識・理解 既存の情報をそのまま受け取らず、多角的な視点から「編集」の役割を捉えようとしているか。 (2)意欲・実行 自身の興味関心 (アート・音楽・サブカル等) を起点に、他のピースとの接点を探求しているか。 (3)思考・判断 リサーチで得た客観的な事実と、自身の主観的な発見を統合し、新しい意味を見出そうとしているか。 (4)技能・表現 ピースの組み合わせや構成を工夫し、独自の視点を視覚的・言語的に表現しようとしているか。 (5)コミュニケーション 自身の考えた「つながり」を他者に伝えるときに、異なる解釈を柔軟に受け入れようとしているか。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

教育学部 子ども学科 ①か②いずれか1つを選択できます。

体験授業①（共同制作）		体験授業②（個別制作）	
授業 内容	7/18 9/12 詩をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作しよう！ テーマに沿ってグループで共同制作を行い、成果発表を実施する。 配付された詩を読み解き、その世界をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作をします。最後に、グループごとに成果を発表しあうことで、詩の世界の解釈や制作した作品の工夫や良さ等について共有します。授業の際、模造紙、カラーペン、色鉛筆、のり、ボンド、コラージュ用素材、ハサミ、カッター、カッターマットを使用予定です。本学ですべて用意いたします。 体験授業時間（制作時間）90分／（発表）20分	授業 内容	7/18 9/12 心理学モチーフの4コママンガから教育・保育・子ども、そして自分を考える。 心理学の視点をモチーフとした複数の4コママンガから気になる作品を選び、そこから得た気づきをまとめる。その後交流を行う。 心理学の視点をモチーフとした4コママンガを複数紹介します。それらのなかから、自分が気になった作品をひとつ選び、その理由を考えます。その後、その作品から得た気づきについて、教育、保育、あるいは子どもとかかわる際に活かせる形にまとめます。最後に、それぞれが選んだ4コママンガの作品について紹介し、理由と気づきについて交流を行います。 体験授業時間 90分
	持ち物		持ち物
	服装		服装
	評価ポイント		評価ポイント
	・筆記用具		・筆記用具
	特に指定なし		特に指定なし
	制作を楽しみながら試行錯誤し、仲間と協調する姿勢などを体験授業レポートにまとめその内容を評価します。		4コママンガという作品を楽しむ姿勢、感じたことや気づきについてまとめる力、他者に紹介する際の姿勢などを体験授業レポートにまとめその内容を評価します。

※ 体験授業時間は目安です。受講生数等によって変動する場合があります。

【併願可】 自己PR型入学試験(活動評価型／未来評価型)〈1期・2期〉

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

自己PR型入学試験は、本学アドミッション・ポリシーの理解を前提に、「自己PRシート」およびプレゼンテーションを通じて、主体性、多様性、協働性、創造性等を問う方式としており、本学を目指す意欲、目的意識、適性等を総合的に評価します。

※ 総合型選抜 1 期（体験授業型入試）との併願可能

〈特待生選抜について(教育学部のみ)〉

教育学部を志願し、自己PR型入学試験(活動評価型)を受験する方で、下記の資格を取得している場合、「教育学部 資格取得報告書(様式5)」を提出すると、「入学特待生S」の選考対象となります。

【特待生の対象となる資格】

・実用英語技能検定 2 級以上※¹ ・日本漢字能力検定 2 級以上 ・IT パスポート※²

※¹ CEFRスコアB1相当以上でも可

※² 情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者、応用情報技術者も可

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

●活動評価型

- ①出願確認票 ②調査書 ③自己PRシート（活動評価型）(様式3-1)
④活動報告書（様式4）※任意提出 ⑤教育学部 資格取得報告書※（様式5）

※⑤は教育学部を志願し、該当する資格を有する場合に提出。(第三者より作成された証明できる書類やそのコピーを併せて提出。)

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大10点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学所定様式)にて提出してください。最大10点を加点します。

(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

●未来評価型

- ①出願確認票 ②調査書 ③自己PRシート（未来評価型）(様式3-2)

選抜方法

全学部 全学科 全領域
(1期・2期)

●活動評価型

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース 音楽領域プロフェッショナル アーティストコースを除く	自己PRシート(活動評価型)※ ¹ (100点)	+	プレゼンテーション※ ^{2・3} (約10分・200点)	+	プラスα 加点 (最大10点)

※¹ 調査書を参考資料とする。

※² これまでに自身が取り組んできた活動について、自己PRシートに記載した内容に基づき、口頭でプレゼンテーションを行ってください。(楽器演奏、歌唱、演舞等は含まない。)

※³ プレゼンテーションに必要な資料や作品、ポートフォリオ等を持参する場合は、出願時にその内容を登録してください。(資料や作品は一人で持ち運べる範囲のものに限る)
なお、持参する資料や作品がスライドや映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参すること。

※⁴ プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

●未来評価型

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース 音楽領域プロフェッショナル アーティストコースを除く	自己PRシート(未来評価型)※ ¹ (100点)	+	プレゼンテーション※ ^{2・3} (約10分・200点)

※¹ 調査書を参考資料とする。

※² あなたが将来活躍したい分野と、そのために大学で取り組みたい活動(学び・研究)について、自己PRシートに記載した内容に基づき、口頭でプレゼンテーションを行ってください。(楽器演奏、歌唱、演舞等は含まない。)

※³ プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

入学試験概要

【併願可】 実技型入学試験〈1期・2期〉

実技型入学試験とは、志願する学科・領域の教育を受けるために相応しい卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。

なお、実技型入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。（詳細は「特待生制度」を参照）

※ 総合型選抜1期（体験授業型入試）との併願可能

募集学部・学科・領域・コース

芸術学部・芸術学科・全領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1)

選抜方法

全学部 全学科 全領域

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース 音楽領域プロフェッショナル アーティストコースを除く	実技試験 ^{※1} (200点)	+	個人面談 ^{※2} (約10分・100点)

※1 各学部学科、領域、コースの実技試験内容は「実技内容」ページをご覧ください。

※2 調査書を参考資料とする。

【併願可】 科目選択型入学試験〈2期のみ〉

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

科目選択型入学試験は、各学科・領域が求める基礎的な学力や理解度について、基礎学力検査または小論文および志望理由書により選抜を実施する「併願可」の入学試験方式です。

※ 総合型選抜 1 期（体験授業型入試）との併願可能

〈特待生選抜について（教育学部のみ）〉

教育学部を志願し、自己PR型入学試験（活動評価型）を受験する方で、下記の資格を取得している場合、「教育学部 資格取得報告書（様式5）」を提出すると、「入学特待生S」の選考対象となります。

【特待生の対象となる資格】

・実用英語技能検定 2 級以上※¹ ・日本漢字能力検定 2 級以上 ・ITパスポート※²

※¹ CEFRスコアB1相当以上でも可

※² 情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者、応用情報技術者も可

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書（様式1-1） ④教育学部資格取得報告書※（様式5）

※④は教育学部を志願し、該当する資格を有する場合に提出。（第三者より作成された証明できる書類やそのコピーを併せて提出。）

選抜方法

全学部 全学科 全領域

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース 音楽領域プロフェッショナル アーティストコースを除く	志望理由書※ ¹ (100点) (事前テーマ設定)	+	以下より、いずれか1つを選択 ・基礎学力検査〔英語、数学、国語から出願時に2科目選択〕(50分・200点) ・小論文※ ² (50分・200点)

※¹ 調査書を参考資料とする。

※² 「小論文」課題は当日出題。800字程度とする。

●志望理由書の事前テーマ

「大学入学志望理由書」（様式1-1）を使用し、テーマに沿って志望理由を記述してください。

学部 学科 領域	明示するテーマ
全学部 全学科 全領域	あなたが志望している本学の学科・領域には、あなたにとってどのような魅力があると考えていますか。 本学のアドミッション・ポリシーに書かれている内容を踏まえて、志望する理由を明確に記述してください。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

【英語】：英語コミュニケーションⅠ 【数学】：数学Ⅰ 【国語】：現代の国語、言語文化（古文・漢文は除く）

【併願可】 プロフェッショナルアーティスト入学試験〈1期・2期〉

声楽、鍵盤楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、作曲の専攻実技の教授に特化し、将来、音楽家を目指す学生を養成する「音楽領域プロフェッショナルアーティストコース」の選抜を行うための入学試験です。

なお、このプロフェッショナルアーティスト入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。（詳細は「特待生制度」を参照）

募集学部・学科・領域・コース

芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコース

※声楽コース、鍵盤楽器コース（ピアノ・電子オルガン）、弦管打コース、サウンドメディア・コンポジションコースを第2志望として選択が可能です。
（第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。）

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書(様式1-1) ④活動報告書(様式4) ⑤実技曲目記入用紙(様式7-2)
⑥声楽曲伴奏楽譜 ⑦事前提出作品 ⑧作品提出記入用紙(様式8)
※⑤～⑧は対象専攻の選抜方法により提出を必要とする場合のみ。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域
〈1期・2期〉

対象専攻	選抜方法①*	選抜方法②
声楽 鍵盤楽器 弦楽器、管楽器、打楽器	実技試験*1 [指定課題曲の演奏] (200点)	+ 個人面談*2 (約10分・100点)
作曲	実技試験*1 [作品提出およびプレゼンテーション] (200点)	

※1 実技試験内容は「実技内容」ページをご覧ください。

※2 調査書を参考資料とする。

入学試験概要

【併願可】一般推薦入学試験

この入学試験は、在卒学校の推薦に基づき、課題や実技および面接や書類審査によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、一般推薦入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

※実技試験で受験する場合は、「入学特待生S」「入学特待生A」も選考対象となります。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

推薦基準

問わない

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③推薦書(様式6) ④大学入学志望理由書(様式1-1)
⑤実技曲目記入用紙(様式7-1) ⑥作品提出記入用紙(様式8) ⑦声楽曲伴奏楽譜 ⑧事前提出作品
※⑤～⑧は音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域、美術領域、デザイン領域

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース 音楽領域プロフェッショナル アーティストコースを除く	以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験※ ¹ (200点) ・基礎学力検査※ ² [英語、数学、国語から出願時に2科目選択] (50分・200点)	+	個人面談※ ³ (100点)

※¹ 各学部学科、領域、コースの実技試験内容は「実技内容」ページをご覧ください。

※² 音楽領域 声楽コース、鍵盤楽器コース、弦管打コースは基礎学力検査の選択はありません。

※³ 調査書を参考資料とする。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域、芸術教養領域
教育学部 子ども学科

コース	選抜方法①		選抜方法②
全コース	・基礎学力検査 [英語、数学、国語から出願時に2科目選択] (50分・200点)	+	個人面談※(100点)

※ 調査書を参考資料とする。

〈基礎学力検査の出題範囲〉

「英語」: 英語コミュニケーションI 「数学」: 数学I 「国語」: 現代の国語、言語文化(古文・漢文は除く)

入学試験概要

【併願可】 一般入学試験〈前期・後期〉

この入学試験は、高等学校等でこれまで身につけてきたスキルや学力について、実技や作品、学力試験を通じて、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

なお、一般入学試験は「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。（詳細は「特待生制度」を参照）

※実技試験で受験する場合は、「入学特待生S」も選考対象となります。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

前期において「学科試験」を選択する場合、学科・領域間の学内併願が可能です。
（※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。）

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書
③実技曲目記入用紙（様式7-1）または（様式7-2） ④作品提出記入用紙（様式8） ⑤声楽曲伴奏楽譜 ⑥事前提出作品
⑦活動報告書（様式4）

※③～⑥は音楽領域で志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

※⑦は「学科試験（英語）」を受験する場合に、CEFR 基準のスコアを保持する者で、所定の配点を付し「学科試験（英語）」の受験免除を希望する場合に提出（任意）、又は音楽領域プロフェッショナルアーティストコースに志願する場合は提出（必須）。

選抜方法

〈前期〉

芸術学部 芸術学科 音楽領域、美術領域、デザイン領域

コース	選抜方法①
全コース	以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1（200点） ・学科試験*2（英語、数学、国語から2科目当日選択受験）（100分・200点）

※1 各学部学科、領域、コースの実技試験内容は「実技内容」ページをご覧ください。

※2 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースは学科試験の選択はありません。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域、芸術教養領域

教育学部 子ども学科

コース	選抜方法①
全コース	・学科試験（英語、数学、国語から2科目当日選択受験）（100分・200点）

〈学科試験の出題範囲〉

「英語」：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ 「数学」：数学Ⅰ、数学A 「国語」：現代の国語、言語文化（漢文は除く）

〈後期〉

全学部 全学科 全領域

コース	選抜方法①
全コース	・実技試験*（200点）

※ 各学部学科、領域、コースの実技試験内容は「実技内容」ページをご覧ください。

【併願可】 大学入学共通テスト利用入学試験〈前期・後期〉

この入学試験は、各学科・領域が求める基礎的な学力や理解度について、主に大学入学共通テストの結果により評価を行います。個別学力検査の実施はありません。(来学は不要です。)各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

前期・後期とも学科・領域間の学内併願が可能です。(科目が指定されている場合は当該科目の受験が必要となります。)
(※複数の学科・領域に出願した場合、件数分の検定料がかかります。)

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

①出願確認票(令和9年度共通テスト成績請求チケット(私立大学用)を貼付) ②調査書

本学が利用する大学入学共通テスト科目一覧

以下の科目を利用します。

※過年度の大学入試センター試験や大学入学共通テストの成績は利用できません。

【表1】

教科	科目
国語	①国語
地理歴史	②地理総合、地理探究 ③歴史総合、日本史探究 ④歴史総合、世界史探究 ⑤地理総合/歴史総合/公共
公民	⑥公共、倫理 ⑦公共、政治・経済
数学	⑧数学Ⅰ、数学A ⑨数学Ⅰ ⑩数学Ⅱ、数学B、数学C
理科	⑪物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎 ⑫物理 ⑬化学 ⑭生物 ⑮地学
外国語	⑯英語(リーディング) ⑰英語(リスニング) ⑱ドイツ語 ⑲フランス語 ⑳中国語 ㉑韓国語
情報	㉒情報Ⅰ

※①～㉒の科目はそれぞれ100点に換算します。
※⑯英語(リーディング)と⑰英語(リスニング)はそれぞれ別の科目として独自に設定しています。

選抜方法

全学部 全学科 全領域
〈前期・後期〉

●高得点3科目判定(1出願で高得点3科目の合計で合否を判定する出願方式)

コース	選抜方法
全コース 音楽領域プロフェッショナルアーティストコースを除く	【表1】の①～㉒の中から高得点の3科目*を採用(300点)

※【表1】①の理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。

●トリプル判定(一度に3出願し、それぞれの条件で合否を判定する出願方式)

コース	選抜方法	
全コース 音楽領域プロフェッショナルアーティストコースを除く	【表1】の①～㉒の中から	(1)高得点の3科目*を採用(300点)
		(2)高得点の2科目*を採用(200点)
		(3)高得点の1科目*を採用(100点)

※【表1】①の理科基礎科目は2科目受験の合計点で1科目とみなします。

【併願可】 教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験

教育学部 大学入学共通テスト利用型特待入学試験とは、大学入学共通テストの結果により、優秀者を選抜する入学試験です。

なお、教育学部 大学入学共通テスト利用型特待入学試験は「入学特待生S」「入学特待生A」および「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。

(詳細は「特待生制度」を参照)

<各特待生の選抜対象範囲(目安)>

入学特待生S	
・ 令和9年度大学入学共通テスト(選抜方法に記載された対象科目)	合計得点7割以上(420点以上)
入学特待生A	
・ 令和9年度大学入学共通テスト(選抜方法に記載された対象科目)	合計得点6割以上(360点以上)
入学特待生B	
・ 令和9年度大学入学共通テスト(選抜方法に記載された対象科目)	合計得点5割以上(300点以上)

募集学部・学科

教育学部 子ども学科

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

①出願確認票(令和9年度共通テスト成績請求チケット(私立大学用)を貼付) ②調査書

選抜方法

教育学部 子ども学科

選抜方法
令和9年度大学入学共通テスト 〔「国語」「数学」「外国語」「地理歴史、公民、理科、情報」〕 (600点)

<選抜方法詳細>

選抜方法は、令和9年度大学入学共通テストにおいて、以下の教科・科目の受験が必須となります。

- ①「国語」〔近代以降の文章、古典：古文・漢文〕(200点)
- ②「数学」(100点) ※数学Ⅰ、数学A または 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学B、数学Cから高得点1科目
- ③「外国語」(200点) ※英語選択者はリーディング+リスニング、その他の外国語は200点に換算
- ④「地理歴史、公民」「理科」「情報」から高得点1教科1科目(100点)

※過年度の大学入試センター試験や大学入学共通テストの成績は利用できません。

入学試験概要

【併願可】社会人&シニア入学試験(1期・2期)

この入学試験は、大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人やシニアの方を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。

【併願可】海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

この入学試験は、保護者の勤務に帯同し、海外において異文化体験で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。

【併願可】外国人留学生入学試験(1期・2期)

この入学試験は、日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、異文化の教育で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ、課題や作品および面接や書類審査によって、学びに対する姿勢や意欲、適性などを総合的に評価します。

共通項目

各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

これらの入学試験は「入学特待生B」を選抜する入学試験です。入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなります。(詳細は「特待生制度」を参照)

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

外国人留学生入学試験2期のみ、美術領域とデザイン領域の併願が可能です。
(※併願した場合は、2出願分の検定料がかかります。)

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

出願書類

●社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書(様式9) ⑤大学入学志望理由書(様式1-1)
⑥実技曲目記入用紙(様式7-1) ⑦作品提出記入用紙(様式8) ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨事前提出作品
※⑥～⑨は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

●外国人留学生入学試験

- ①出願確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1) ③出身学校の卒業(見込)証明書 ④出身学校の成績証明書 ⑤履歴書(様式9)
⑥身分を証明する書類 ⑦日本語能力を証明する書類 ⑧経費支弁書 ⑨日本語学校等の卒業(見込)証明書等
⑩提出書類チェックリスト ⑪実技曲目記入用紙(様式7-1) ⑫作品提出記入用紙(様式8) ⑬声楽曲伴奏楽譜 ⑭事前提出作品
※②は外国人留学生入学試験において美術領域とデザイン領域を併願した場合は、それぞれの領域の志望理由書を作成し、併せて2部の提出が必要。
※⑨は日本国内の学校に在籍または在籍していた場合に必ず提出。
※⑪～⑭は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

*外国人留学生については、上記の内容と併せて「外国人留学生の方へ」ページを必ずご確認ください。

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

(1期・2期)

類	コース	選抜方法①	選抜方法②*	選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点)	個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
	弦管打コース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース		・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点)	
	ポップス・ロック&パフォーマンスコース		・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース		・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点)	
	声優アクティングコース		・実技試験 ^{*1} [指定課題] (200点)	
Ⅳ類	サウンドメディア・コンポジションコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定課題] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
	ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定課題] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
	音楽ケアデザインコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
	音楽総合コース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・実技試験 ^{*1} [指定課題] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
			以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・実技試験 ^{*1} [指定課題] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
			以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・実技試験 ^{*1} [指定課題] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	
			以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験 ^{*1} [指定実技] (200点) ・実技試験 ^{*1} [指定課題] (200点) ・小論文 ^{*2} (50分・200点)	

※1 実技試験内容は「実技内容」ページをご覧ください。

※2 「小論文」課題は当日出題。800字程度とする。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

(1期・2期)

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
—	志望理由書(100点)	小論文 [*] (50分・200点)	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4・5・6} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3・4} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 「ファンデーション」および「先端メディア表現コース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点以上。試験当日に持参すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※4 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
—	志望理由書(100点)	+	小論文 [*] (50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

【専願】 3年次編入学試験〈1期・2期〉

この入学試験は、短期大学や専門学校卒業者で更に学びを深めたい者、あるいは、4年制大学を卒業または在籍しつつも本学が有する音楽・舞台芸術・美術・デザイン・芸術教養・子どもの6つの学科・領域への編入学を希望する者を対象に、既に所定の単位数を取得していることを前提に本学における学びの目的や意欲も含め、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。各学科・領域が求める学生像や入学までに求める学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域・コース

●芸術学部 芸術学科

〈音楽領域〉

声楽コース、鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)、弦管打コース、ウインドアカデミーコース、ポップス・ロック&パフォーマンスコース、ダンスパフォーマンスコース、声優アクティングコース、サウンドメディア・コンポジションコース、ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース、音楽ケアデザインコース

〈舞台芸術領域〉

舞台美術コース、演出空間コース、舞台プロデュースコース

〈美術領域〉

日本画コース、洋画コース、現代アートコース、コミュニケーションアートコース、工芸コース

〈デザイン領域〉

ヴィジュアルデザインコース、イラストレーションコース、先端メディア表現コース、メディアコミュニケーションデザインコース、ライフスタイルデザインコース、スペースデザインコース、インダストリアル&セラミックデザインコース、カーデザインコース、工芸コース、テキスタイルデザインコース、文芸・ライティングコース

〈芸術教養領域〉

リベラルアーツコース

●教育学部 子ども学科

出願資格

※「出願資格」ページをご覧ください。

外国人留学生出願資格

「出願資格(3年次編入学試験)」の1～7のいずれかを満たす者で、かつ、下記の1～4のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者(特別永住者を除く)
2. 2027年4月1日現在満20歳以上の者
3. 出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者
4. 次のいずれかの基準を満たしている者

※試験結果は、2024年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。

- (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
- (2) 日本留学試験(EJU) [科目:日本語]において、「読解」「聴解・聴読解」の合計200点以上の得点を取得している者
- (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者
- (4) JPT日本語能力試験において、525点以上の得点を取得している者

※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類 (※外国人留学生の方は、[「外国人留学生の方へ」](#)項目の「提出書類」に該当する書類も併せて提出してください。)

①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書^{※1} ④大学入学志望理由書(様式1-2) ⑤履歴書(様式9)
⑥実技曲目記入用紙(様式7-1) ⑦作品提出記入用紙(様式8) ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨事前提出作品

※⑥～⑨は音楽領域志望コースの選抜方法により提出を必要とする場合に提出。

※⑨はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須。

※1 出願資格に応じて以下の書類を提出してください。

a. 大学、短期大学、高等専門学校等を卒業・修了した者、または2027年3月までに卒業・修了見込の者

→ **卒業・修了(見込)証明書および成績証明書**

b. 大学2年次以上に在学し、62単位以上を修得した者、または2027年3月までに修得見込の者

→ **在学証明書、単位修得(見込)証明書および成績証明書**

c. 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上であること)を修了した者、または2027年3月までに修了見込の者

→ **専門課程修了(見込)証明書(専門士の資格が取得できる旨が付記されたもの)および成績証明書**

選抜方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

(1期・2期)

類	コース	選抜方法①	選抜方法②*	選抜方法③
Ⅰ類	声楽コース	志望理由書 (100点)	・実技試験*1 [指定実技] (200点)	個人面接 (約10分・200点)
	鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1 [指定実技] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	
	弦管打コース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1 [指定実技] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	
Ⅱ類	ウインドアカデミーコース		・実技試験*1 [指定実技] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	
	ポップス・ロック&パフォーマンスコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1 [指定実技] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	
Ⅲ類	ダンスパフォーマンスコース		・実技試験*1 [指定実技] (200点) ・実技試験*1 [指定課題] (200点)	
	声優アクティングコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1 [指定課題] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	
Ⅳ類	サウンドメディア・コンポジションコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1 [指定課題] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	
	ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1 [指定課題] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	
	音楽ケアデザインコース		以下より、いずれか1つを選択 ・実技試験*1 [指定実技] (200点) ・小論文*2 (50分・200点)	

※1 実技試験内容は「実技内容」ページをご覧ください。

※2 「小論文」課題は当日出題。800字程度とする。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

(1期・2期)

コース	選抜方法①	選抜方法②	選抜方法③
舞台美術コース	志望理由書(100点)	専門実技(ラフスケッチ) (120分) (200点)	個人面接(約10分) (200点)
演出空間コース		専門課題(筆記試験30分+実技試験45分) ^{※1} (200点)	
舞台プロデュースコース		小論文(50分) ^{※2} (200点)	

※1 下記のいずれか1つを選択。

【音響】舞台機構技能検定3級程度の筆記試験と実技試験を行います。

【照明】一般的な公立劇場設備に係る劇場機構や照明機材の名称に関する筆記試験と、照明機材設営と撤収にかかる基本実技試験を行います。

※2 「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

総合型選抜(特別枠)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース ※美術総合コースは除く	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ※1・2・3・4・5・6 (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 日本画コース、洋画コースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサン等いずれも可。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による3年以内に制作した作品を2点以上を持参すること。
- ※3 現代アートコースの「自己作品」は、絵画、彫刻、立体、写真、映像、サウンド、パフォーマンス、ドローイング、デッサン、テキスト、アニメーション、CG、テキスタイル、その他など、扱うメディアや素材は問わない。ただし、3年以内に制作した作品を2点以上持参すること。
- ※4 持参する作品は、受験生が自身で搬入できるサイズに限る。自身で搬入できない場合は、ポートフォリオを持参すること。
- ※5 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※6 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
全コース	志望理由書(100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション ※1・2・3・4・5(約10分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※1 「工芸コース」および「テキスタイルデザインコース」の「自己作品」は、3年以内に制作した作品2点以上と各自過去の実績をできる限り表明し得る作品と作品写真等(ポートフォリオ)を持参すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 「上記以外のコース」の「自己作品」は、各自過去の実績をできる限り表明し得る作品と作品写真等(ポートフォリオ)を持参すること。
- ※4 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※5 プレゼンテーションには、準備や質疑応答の時間を含みます。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
リベラルアーツコース	志望理由書(100点)	+	小論文*(50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選抜方法①		選抜方法②		選抜方法③
—	志望理由書(100点)	+	小論文*(50分・200点)	+	個人面接(約10分・200点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。800字程度とする。

入学試験概要

実技内容

芸術学部 芸術学科 音楽領域

① 声楽コース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	外国歌曲を1曲(下表の外国歌曲群から1曲選択)および日本歌曲を1曲(下表の日本歌曲群から1曲選択)の計2曲を歌唱すること。歌詞はすべて原語とし、暗譜で歌唱すること。ただし※印の4曲においては()の指示で歌唱すること。 ・選択した計2曲の曲名、調、作曲者名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。 ・伴奏者は本学で準備します。(※3年次編入学試験においては伴奏者は同伴のこと)
評価ポイント	(1)発声の基礎(呼吸・姿勢・響き) (2)音程・リズムなどの基礎的な音楽能力 (3)音楽性・表現力 (4)学びに向かう姿勢・意欲 (5)将来の成長可能性

外国歌曲群	調	作曲者
1. An die Musik	D-dur, C-dur, B-dur	F.Schubert
2. Ich liebe dich	E-dur, F-dur, G-dur	L.V.Beethoven
3. Die Lotosblume	Es-dur, F-dur	R.Schumann
※4. Auf Flügeln des Gesanges (13番のみ)	As-dur, G-dur, F-dur	F.Mendelssohn
5. Sebben, crudele	e-moll, d-moll, c-moll	A.Caldara
6. Vergin, tutto amor	d-moll, c-moll, h-moll	F.Durante
7. Già il sole dal Gange	B-dur, As-dur	A.Scarlatti
8. Caro mio ben	F-dur, Es-dur, Des-dur	G.Giordani
9. Caro laccio	Es-dur, Des-dur	F.Gasparini
10. Segreto	f-moll	F.Tosti

日本歌曲群	調	作曲者
※1. 早春賦(2番まで)	Es-dur, F-dur	中田章
※2. 浜辺の歌(2番まで)	F-dur, As-dur	成田為三
※3. 椰子の実(2番まで)	G-dur, A-dur	大中寅二
4. かやの木山の	D-dur, C-dur	山田耕柞
5. この道	D-dur, E-dur, F-dur	山田耕柞
6. 北秋の	B-dur, C-dur, D-dur	信時潔
7. 行々子	D-dur, E-dur, Fis-dur	信時潔
8. ゆりかご	D-dur, E-dur	平井康三郎
9. 風の子供	Des-dur, B-dur	中田喜直
10. さくら横ちょう	b-moll, g-moll	中田喜直

3年次編入学試験は次の歌曲群から選択

- ・調は自由
- ・伴奏者は同伴のこと

外国歌曲群	作曲者
1. Widmung	R.Schumann
2. An die Nachtigall	J.Brahms
3. Quando ti rivedro	S.Donaudy
4. Dormi, bella	G.B.Bassani

日本歌曲群	作曲者
1. からたちの花	山田耕柞
2. 鐘が鳴ります	山田耕柞
3. ひぐらし	團伊玖磨
4. アマリリス	中田喜直

注意 ・「声楽曲伴奏楽譜」の提出について
上記以外の調で受験する場合は、当該曲目の「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること
(提出楽譜については、以下の楽譜の提出方法を参照のこと)

声楽曲伴奏楽譜の提出方法 下記楽譜の提出方法を参照してください。

①各ページをA4判縦とする

②各ページが全開するよう横一連に綴じる

③表紙の裏から伴奏楽譜を1ページとする

④表紙が上になるように折りたたむ

⑤手書きの楽譜は、黒のペンまたはボールペンで正確に書く

② 鍵盤楽器コース（ピアノ）

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	A(課題曲)とB(自由曲)をそれぞれ1曲、併せて2曲を演奏すること。演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。 ・課題曲は下表のAより1曲選択し、作曲者名と練習曲名・作品番号他を、Bの自由曲は作曲者名と曲名・作品番号・楽章他を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。 ※3年次編入学試験において、A(課題曲)は9を演奏すること。
評価ポイント	(1)基礎的な演奏技術 (2)音楽性・表現力 (3)楽曲理解・解釈力 (4)学びに向かう姿勢・意欲 (5)将来の成長可能性

A
1. Czerny 50番(Op.740)
2. Czerny 60番(Op.365)
3. Cramer-Bülowのエチュード
4. Clementi-Tausigのエチュード
5. Moscheles(Op.70)
6. Moszkowski(Op.72)
7. Chopinのエチュード(Op.10, Op.25, 遺作)
8. J.S.Bachのクラヴィーア曲(「平均律ピアノ曲集」の場合はフーガのみ)
※9. J.S.Bachの平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)

B
自由曲

③ 鍵盤楽器コース（電子オルガン）

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	任意の楽曲 1曲を電子オルガンで演奏すること。演奏は暗譜とする。 レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないのであらかじめ作成して記録したメディア(USBメモリ等)を用意すること。この場合、自分で作成したものに限定しない。 MDRの使用範囲はレジストデータとレジストチェンジまでとする。 ・曲名および使用機種は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。 〈使用機種〉 ヤマハ ELS-02C、ELS-03XR
評価ポイント	(1)基礎力 (2)表現力 (3)技術力 (4)楽曲の理解度・完成度

④ 弦管打コース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	弦楽器、管楽器または打楽器による任意の楽曲1曲を演奏。
評価ポイント	(1)楽曲の完成度 (2)楽曲の表現力 (3)楽曲の理解度 (4)楽器演奏の技術

【弦楽器】	
対象楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、ギター	
任意の楽曲1曲を演奏すること。演奏は繰り返しなしで、伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。 ※3年次編入学試験においては、伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと	
【管楽器】	
対象楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、バスクラリネット、ファゴット、サクソフォーン、トランペット、ホルン、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ	
任意の楽曲1曲を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。 ※3年次編入学試験においては、上記と併せて、音階（各調より当日指定〔形式任意〕）を演奏 ※3年次編入学試験においては、伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと	
【打楽器】	
対象楽器：スネアドラム（小太鼓）、マリンバ	
任意の楽曲1曲を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。 ※3年次編入学試験においては、次の課題を演奏 ※3年次編入学試験においては、伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと	
スネアドラム（小太鼓）	(1) 5、7、9、11、13、17等のストロークロール 2、5、7打ち等を含む任意の曲 (2) マリンバによる簡単な音階
マリンバ	(1) マリンバ等による音階。調は当日指定 (2) 任意の楽曲 (3) スネアドラム（小太鼓）による任意の楽曲

- ・楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。
- ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

⑤ ウインドアカデミーコース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	弦管打楽器による演奏。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。 任意の楽曲もしくはエチュード（練習曲）を演奏。 ・楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	(1)楽曲の完成度 (2)楽曲の表現力 (3)楽曲の理解度 (4)楽器演奏の技術

⑥ ポップス・ロック＆パフォーマンスコース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人＆シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	「楽器演奏」または「ヴォーカル」による自由曲1曲を演奏。
評価ポイント	(1)曲の理解度 (2)楽しんで演奏出来ているか (3)音程、リズム、和音、リフ、ソロ等のレベル (4)熱意がみられるか (5)自己の考えやプレゼン、パフォーマンス能力(曲の説明等)

楽器演奏
任意の楽器による自由曲を1曲演奏する(即興演奏、自作曲の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。 他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式の音源(マイナスイワ※)を各自用意すること (音源はCD、スマートフォン、音楽プレイヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること) アンプは原則として本学で用意するものを使用すること
ヴォーカル
自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 ヴォーカル伴奏の音源(マイナスイワ※)を各自用意すること。弾き語りでも可。 (音源はCD、スマートフォン、音楽プレイヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)

- ・ヴォーカルを選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。(電子オルガンを使用する場合は、使用機種名(ヤマハELS-02C、ELS-03XR)も記入すること。)
 - ・伴奏の音源を持参する場合は、形態を「実技曲目記入用紙」に記入してください。
 - ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
- ※「マイナスイワ」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

⑦ ダンスパフォーマンスコース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人＆シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	受験者が自身で選曲した楽曲に合わせたダンスパフォーマンスの実施。 (条件)曲の長さは2分以上とし、ダンスのジャンルは問わない。 ・楽曲の音源(CD、スマートフォン、音楽プレイヤー、USBメモリ等)を各自用意してください。 ・動きやすい服装と上履き又はそれぞれのダンスジャンルに適したダンスシューズ(裸足も可)を持参してください。
評価ポイント	(1)技術力 (2)表現力 (3)創造性 (4)身体能力

⑧ 声優アクティングコース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定課題
試験説明	以下の指定した課題、朗読と演技をそれぞれの台本テキストに沿って、試験官の前で身体表現も含めて演じてください。 ※試験当日の台本テキストの配付はありません。必要な場合は各自持参すること。 ①朗読 ②演技
評価ポイント	(1)理解力 (2)探求力 (3)集中力 (4)対応力

声優アクティングコース入学試験 指定課題

●朗読

次の文章を朗読してください。
(テキストを見ながらで構いません)

宮澤賢治「よだかの星」より (男女共通)

よだかは、どこまでも、どこまでも、まっすぐに空へ登って行きました。登って登って行きました。それなのに、星の大きさは、さっきと少しも変わりません。つく息はふいごのようです。寒さや霜がまるで剣(つるぎ)のようによだかを刺さしました。よだかは羽根がすっかりしびれてしまいました。そして涙ぐんだ目を上げてもう一ぺん空を見ました。そうです。これがよだかの最後でした。もうよだかは落ちていのか、登っているのか、逆さになっているのか、上を向いているのかも、わかりませんでした。それからしばらく経って、よだかははっきりまなこを開きました。そして自分のからだは今、隣の火のような青い美しい光になって、静かに燃えているのを見ました。よだかの星は燃え続けました。いつまでもいつまでも燃え続けました。……今でもまだ燃えています。

●演技

次のテキストのどちらかを選んで、行動と共に演じてください。

テキスト1 (男女共通)

逃走中

「まさかここまでは来ないと思うけど、じつともしてられないし。うん、大丈夫、げっ！ 見つかった！ (走る走る) ええと、次はどっちに曲がればいいんだっけ。こっち！ (走る) 嘘、行き止まり？ 嘘でしょ、どっかに抜け穴とかないの？ ああ、どうもこんにちは。今日もいい天気ですね。見逃してくれたらとかは、あはは、しないですよね」

テキスト2 (男女共通)

面接前に (女性)は語尾を変えてもいい)

「お邪魔します。あれ、誰もいない。ここで待ってるって言われたんだけどな。ま、勝手に待たせてもらうか。(座って) うわー、いい椅子だ。このスプリングすっごい沈む。絶対高いんだろ。うな、革張りの、ウチにも欲しいんだけど迷うなあ。うん、誰も見てないよね。よし、とっ (ジャンプして着席) あははは、すごい、跳んで跳ねても頑丈だこの椅子……はっ！ すみません、いつから見えました？」

⑨ サウンドメディア・コンポジションコース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定課題
試験説明	<作品提出およびプレゼンテーション> 自分で創作した音楽作品を出願書類とともにUSBメモリで提出する。 楽曲の長さは5分程度とし、作品のファイル形式はWAVファイルとする。 試験当日は、10分程度で作品についてプレゼンテーションをしてもらいます。 ・音楽作品のファイル(USBメモリ)および作品概要を「作品提出記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「作品提出記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	作品を構成するための技術的要素に加え、オリジナリティ、表現力などを多角的に判断します。

⑩ ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定課題
試験説明	【プレゼン課題:理想のステージスタッフ像について】 舞台制作の現場では、多くの専門部署が協力して一つの作品を作り上げます。あなたが考える「理想のステージスタッフ」とはどのような人物ですか。音響・照明・舞台監督・衣装などの特定の部署に限定せず、プロのスタッフとして共通して必要な精神、姿勢、あるいは現場での在り方について、あなたの考えをプレゼンしてください。 ○発表時間: 5 分 ○提出物: プレゼンテーション資料(出願書類とに同時提出) ○資料形式: A3サイズ、横向き1 枚で作成してください。 ○留意事項: これまでの自身の経験や、具体的な舞台作品の例などを交えて構成しても構いません。
評価ポイント	(1)現場への理解と安全意識 単なる「好き」ではなく、現場の厳しさ、安全第一の姿勢、多職種が共存する特殊な環境を想像できているか。 (2)連携力とプロの在り方 自分の役割に固執せず、作品全体のクオリティ向上のために「他部署とどう対話するか」という柔軟性があるか。 (3)実体験に基づく自己分析 抽象的な言葉だけでなく、過去の経験や具体的な作品から「なぜその理想に辿り着いたか」という独自の視点があるか。 (4)伝達能力(構成・表現) A3、1枚の資料を「設計図」のように扱い、5分間で論理的かつ情熱を持って相手に伝えられるか。

⑪ 音楽ケアデザインコース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験、3年次編入学試験
試験内容	指定実技
試験説明	自分の得意とする音楽表現(歌唱・楽器演奏・弾き語り・即興など)を用いて、3～5分のパフォーマンスを行う。 ジャンルや形式は問わない。音楽を通して何を表現しようとしているかを重視する。 ※パフォーマンス終了後に質疑応答あり
評価ポイント	(1)自身の技術レベルに応じた適切な選曲がなされているか。 (2)音楽を通して意図や感情が伝わる表現となっているか。 (3)選曲の意図を口頭で明確に説明できるか。

歌唱(弾き語り)
自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 歌唱伴奏の音源(マイナスイワ※)を各自用意すること。 (音源はCD、スマートフォン、音楽プレイヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)
楽器演奏
任意の楽器による自由曲を1曲演奏する(即興演奏、自作曲の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。 他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式の音源(マイナスイワ※)を各自用意すること。 (音源はCD、スマートフォン、音楽プレイヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること) アンプは原則として本学で用意するものを使用すること。

- ・歌唱を選択する場合は曲目を、楽器演奏(弾き語り、即興含む)を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。(電子オルガンを使用する場合は、使用機種名(ヤマハELS-02C、ELS-03XR)も記入すること)
 - ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
- ※「マイナスイワ」=自分の演奏パートの音が入っていない音源

⑫ 音楽総合コース

対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人&シニア入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験
試験内容	指定実技または指定課題
試験説明	①～⑪までのいずれか1つのコースの実技課題を選択できます。

⑬ プロフェッショナルアーティストコース（声楽）

対象入試	プロフェッショナルアーティスト入学試験、一般入学試験
試験内容	指定課題曲の演奏
試験説明	A 課題曲(外国歌曲群)より2曲、B 課題曲(日本歌曲群)より2曲を選択した中から、それぞれ1曲ずつを当日試験場で指定します。 ABCの順に3曲を演奏してください。選択した曲(A:2曲、B:2曲)、任意の曲(C:1曲)は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	・理解力(読譜力・読解力)=内容を正しく理解しているか ・基礎力=基礎的な技術が身についているか ・表現力=相手に対し、しっかりと伝えられているか ・習熟度=完成度の高いものになっているか

A 課題曲

下記の作曲家より異なる作曲家の曲を2曲準備する。歌曲に限る。調性は自由とする。

外国歌曲群の作曲家					
A.Cesti	A.Scarlatti	W.A.Mozart	G.Rossini	G.Donizetti	V.Bellini
G.Verdi	F.P.Tosti	S.Donaudi	F.Schubert	R.Schumann	J.Brahmus

B 課題曲

下記の作曲家より異なる作曲家の曲を2曲準備する。調性は自由とする。

日本歌曲群の作曲家				
滝廉太郎	山田耕作	信時潔	弘田龍太郎	成田為三
平井康三郎	中田喜直	團伊玖磨	小林秀雄	木下牧子

C 自由曲

オペラアリア、コンサートアリア、オラトリオから任意の1曲を演奏する。

(演奏途中で切る場合がありますが、審査に影響はありません)

- 注意
- ・歌詞はすべて原語とし、暗譜で歌唱すること。
 - ・伴奏者については自身で用意する。

⑭ プロフェッショナルアーティストコース（ピアノ）

対象入試	プロフェッショナルアーティスト入学試験、一般入学試験
試験内容	指定課題曲の演奏
試験説明	A、B、C、全ての課題を暗譜で演奏すること。当日、時間の都合により一部を省略する場合がある。 演奏する曲名等は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	・理解力(読譜力・読解力)=内容を正しく理解しているか ・基礎力=基礎的な技術が身についているか ・表現力=相手に対し、しっかりと伝えられているか ・習熟度=完成度の高いものになっているか
A	J.S.Bach平均律1巻・2巻より任意の1曲 もしくは 以下の作曲家より任意の練習曲を1曲 (ショパン、リスト、ドビュッシー、ラフマニノフ、スクリャービン、プロコフィエフ、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、バルトーク、リグティ、間宮芳生)
B	J.Haydn、W.A.Mozart、L.V.Beethoven いずれかのソナタより任意の作品の第1楽章
C	ロマン派もしくは近現代の作品より任意の1曲（練習曲以外の作品に限る）

⑮ プロフェッショナルアーティストコース（電子オルガン）

対象入試	プロフェッショナルアーティスト入学試験、一般入学試験
試験内容	指定課題曲の演奏
試験説明	以下の条件の3曲を演奏してください。曲名や使用機種等は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。 〈使用機種〉 ヤマハ ELS-02C、ELS-03XR
評価ポイント	・理解力(読譜力・読解力)=内容を正しく理解しているか ・基礎力=基礎的な技術が身についているか ・表現力=相手に対し、しっかりと伝えられているか ・習熟度=完成度の高いものになっているか
①	クラシック作品を1曲演奏。時代、演奏時間は不問。編曲についても市販の既成か自編曲かは不問。
②	ポピュラー音楽作品を1曲演奏。ポピュラー音楽に類すれば、ジャンル、演奏時間は不問。 編曲についても市販の既成か自編曲かは不問。
③	自作を含む自編曲作品を1曲演奏。ジャンル、演奏時間は不問。

⑩ プロフェッショナルアーティストコース（弦楽器）

対象入試	プロフェッショナルアーティスト入学試験、一般入学試験
試験内容	指定課題曲の演奏
試験説明	次の課題を演奏すること。伴奏の有無は任意。楽譜の持ち込み可。 ・楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	・理解力（読譜力・読解力）＝内容を正しく理解しているか ・基礎力＝基礎的な技術が身についているか ・表現力＝相手に対し、しっかりと伝えられているか ・習熟度＝完成度の高いものになっているか

ヴァイオリン	
1	音階／調号（＃・♭3つまでの長調・短調）を当日指定し、3オクターブ演奏する。（形式任意）
2	P.Rode : Capricen J.Dont : 24 Etüden und Capricen op.35 N.Paganini : 24 Caprices の中から任意の1曲を選択し演奏する。
3	W.A.Mozart : Konzert für Violin Nr.3.4.5 の中から1曲選択し第1楽章（カデンツ付き）のみ演奏する。 （当日演奏箇所を指定する）
4	ロマン派以降の任意の協奏曲より第1楽章（版の指定なし）
ヴィオラ	
1	音階／調号（＃・♭3つまでの長調・短調）を当日指定し、3オクターブ演奏する（形式任意）
2	Kreutzer : 42 Studies Rode : 24 Capricen の中から任意の1曲を選択し演奏する。
3	K.Stamitz : Konzert D-dur op.1 第1楽章 カデンツを含む（版の指定なし）
チェロ	
1	音階／調号（＃・♭3つまでの長調・短調）を当日指定し、3オクターブ演奏する（形式任意）
2	J.L.Duport : The 21 Famous Exercises より、任意の1曲を演奏する。
3	J.Haydn : Konzert Nr.1 C-dur 第1楽章 カデンツ含む（版の指定なし）
コントラバス	
1	音階／調号（＃・♭3つまでの長調・短調）を当日指定し、3オクターブ演奏する（形式任意）
2	J.Hrabe : 86 Etudes よりNo.15.22.27.28番の中から任意の1曲を演奏する。
3	A.Capuzzi : Contrabass Concerto D Major より第1楽章（版の指定なし）
ハープ	
1	R.N.C.Bochsa : Célèbres Etudes Cinquante Etudes op.34 2巻よりNo.30
2	任意の自由曲1曲

注意 ・伴奏者については自身で用意すること。

⑰ プロフェッショナルアーティストコース（管楽器）

対象入試	プロフェッショナルアーティスト入学試験、一般入学試験
試験内容	指定課題曲の演奏
試験説明	次の課題を演奏すること。伴奏の有無は任意。楽譜の持ち込み可。 ・楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	・理解力(読譜力・読解力)=内容を正しく理解しているか ・基礎力=基礎的な技術が身についているか ・表現力=相手に対し、しっかりと伝えられているか ・習熟度=完成度の高いものになっているか

フルート	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	次の3つの練習曲集より任意の1曲を選択し演奏する。 E.Köhler : Medium Difficult Exercises op.33 Book 2 J.Andersen : 24 Etudes op.21 A.B.Fürstenau : Bouquet des Tons op.125
3	G.Fauré : Fantasie op.79
4	J.S.Bach : Sonate E-dur BWV.1035 より第1, 2楽章
※すべて版の指定はしない。	
オーボエ	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し演奏する（形式 スラー）
2	W.Ferling : 48 Études No 1.8.21.22.23.24.25 より当日指定する。
3	J.Haydn : Konzert C-dur より第1楽章 カデンツ含む（Breitkopf版）
クラリネット	
1	R.Eichler Scales for Clarinet より1番各調（長調・短調）を当日指定し演奏する（形式 スラー）
2	C.Rose : 32 Etudes よりNo.15～24 の中から当日指定する。
3	下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 C.M.v.Weber : Concertino in E♭ major op.26（版の指定なし） C.M.v.Weber : Konzert Nr.1 f-moll op.73 より 第1楽章（ベールマン・カデンツ含む）
バスクラリネット	
1	R.Eichler Scales for Clarinet より1番各調（長調・短調）を当日指定し演奏する（形式 スラー）
2	C.Rose : 32 Etudes よりNo.15～24 の中から当日指定する。
3	下記の2曲より1曲を選択し演奏する（版の指定なし） Wilfried Westerlinck : Look, a Bass Clarinet in My Garden Henri Rabaud : Solo De Concours
ファゴット	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	Weissenborn : Etudes op.8 2巻 No.1～15 の中から当日2曲指定する。
3	K.Stamiz : Konzert F-dur für Fagott 第1楽章 カデンツ含む（版の指定なし）
サクソフォン	
※アルトサクソフォンで受験のこと	
1	サクソフォンのためのトレーニングブック（須川展也編、音楽之友社）51,52頁の音型を使用し、スラーで演奏する。繰り返しなし。
2	M.Mule : QUARANTE-HUIT ETUDES.d'après FERLING「48 の練習曲」より 1,2,4,5,6,9,13,14,17,18,番より当日2曲指定する。
3	A.Glazounov : Concerto en mi bémol 練習番号16 番まで（Leduc 版）

注意 ・伴奏者については自身で用意すること。

実技内容

トランペット	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	C.kopprasch：60 Selected Studies for Trumpet No.8.13.14.15.17.18.19.21.32 の中から当日2曲指定する。
3	下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 C.Höhne：Slavische Fantasie für Cornet a piston（s 版の指定なし） C.saint-Saëns：Fantasie en mi bémol のいずれかを選択して演奏する
ホルン	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	C.kopprasch：60 Selected Studies for French Horn よりNo.1～28 の中から2曲当日指定する。
3	下記の2曲より1曲を選択し演奏する。（カデンツなし） W.A.Mozart：Konzert für Horn Nr.3 Es-dur K.447 第1楽章（版の指定なし） W.A.Mozart：Konzert für Horn Nr.4 Es-dur K.495 第1楽章（版の指定なし）
トロンボーン	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	C.kopprasch：60 Selected Studies for Trombone よりNo.1～35の中から当日2曲指定する。
3	F.David：Concertino in E b op.4 第1,2楽章（Zimmermann版）
バストロンボーン	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	C.kopprasch：60 Selected Studies for Trombone よりNo.1～35の中から当日2曲指定する。
3	F.David：Concertino in E b op.4 第1,2楽章（Zimmermann版）
ユーフォニアム	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	C.kopprasch：60 Selected Studies for Trombone よりNo.10～30の中から当日2曲指定する。
3	下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 A.Capuzzi：Andante and Rondo（版の指定なし） P.V.De la Nux：Solo de Concours pour Trombone et piano（Leduc 版）のいずれかを選択して演奏する。
テューバ	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー）
2	C.kopprasch：60 Selected Studies for Tuba よりNo.3～26の中から当日2曲指定する。
3	A.Levdjev：Konzert Nr.1 für Tuba（Hoffmeister版）

注意 ・伴奏者については自身で用意すること。

⑱ プロフェッショナルアーティストコース（打楽器）

対象入試	プロフェッショナルアーティスト入学試験、一般入学試験
試験内容	指定課題曲の演奏
試験説明	次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。 ・楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。 ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	・理解力(読譜力・読解力)=内容を正しく理解しているか ・基礎力=基礎的な技術が身についているか ・表現力=相手に対し、しっかりと伝えられているか ・習熟度=完成度の高いものになっているか

スネアドラム（小太鼓）	
1	基礎打ち（1.2.5.7.9 打ちおよびロングロールより当日指定する）
2	C.Wilcoxon：The All-American Drummer 150 Rudimental solos より No.1～10、31～40 の中から当日2曲指定する。
3	任意の自由曲1曲（10分程度）
マリンバ	
1	音階／各調（長調・短調）を当日指定し、3オクターブ演奏する（形式自由）
2	J.S.Bach：Violin Partita No.3 in E BWV.1006 より “Preiudio”（版の指定なし）
3	任意の自由曲1曲（10分程度）

⑲ プロフェッショナルアーティストコース（作曲）

対象入試	プロフェッショナルアーティスト入学試験、一般入学試験
試験内容	作品提出およびプレゼンテーション
試験説明	受験者自身が作曲したスタイルの異なる3作品（1作品10分以内）の音源と楽譜（スコア）を出願時に提出すること。 試験当日は、15分程度で作品について口頭でプレゼンテーションをしてもらいます。 ・音源は WAV ファイル、楽譜（スコア）は PDF ファイル とし、USB メモリで提出すること。 ・作品概要を「作品提出記入用紙」に1作品ごと記入のうえ出願書類として郵送提出してください。 ・「作品提出記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。
評価ポイント	作品を構成するための技術的要素に加え、オリジナリティ、表現力などを多角的に判断します。

〈選抜に関する注意事項〉

- * 原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン（ヤマハ ELS-02C、ELS-03XR）、コントラバス、ハーブ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム（小太鼓）、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
- * その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム（演奏）〔TEL:0568-24-5141〕までお問い合わせください。
- * 学内にある練習室（東キャンパス5号館1F）が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8:00～9:00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。
- * 選抜に関することで、出願後に大学側から受験者に問い合わせを行うことがあります。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

全コース		
対象入試		実技型入学試験、一般入学試験(後期のみ)
試験内容		これまでの活動実績・作品のプレゼンテーションを行う
試験説明	時 間	1人20分(受験生プレゼンテーション10分、質疑応答10分)
	持 ち 物	紙資料はA3サイズ換算で5～10枚程度 立体物・模型等の持参も可。ただし 一人で持ち運べる範囲。複数の形式を組み合わせても可 ※プロジェクターを使用して、PowerPoint等のプレゼンテーションを行う場合は紙資料と併せてデータをUSBメモリで持参してください。
	モチーフ・課題の公表内容	これまでに自身が取り組んだ芸術活動、創作活動、社会活動、ボランティア活動などについて、作品、写真、チラシ、コピー、模型、報告書、企画書、ポートフォリオなど、自分の活動を伝えるための資料を自由に持参し、10分間のプレゼンテーションを行ってください。資料は複数の形式を組み合わせても構いません。紙資料はA3サイズ換算で5～10枚程度を目安とし、立体物等は一人で持ち運べる範囲とします。プレゼンテーション終了後、10分間の質疑応答を行います。
	大学準備物	パソコン、プロジェクター、USBコネクタ
評価ポイント		これまでの活動を振り返り、作品意図や工夫した点、苦労した点を自分の言葉で整理し、他者に伝える力を評価します。舞台芸術作品をつくるうえで不可欠な、企画力、表現力、言語化能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を総合的に見ます。プレゼンテーションと質疑応答を通して、活動の質だけでなく、思考の深さも確認します。

芸術学部 芸術学科 美術領域

全コース		
対象入試		実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験
試験内容		静物デッサン 指定された卓上の共通モチーフを木炭紙大画用紙に鉛筆を用いてデッサンする。
試験説明	時 間	3時間
	持 ち 物	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り用具(カッターナイフなど)、練り消しゴムなどの描画道具一式
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	問題用紙、木炭紙大画用紙、画鋏、カルトン、モチーフ
評価ポイント		デッサンを描くことによって基礎的な多くの能力が身につきます。本学ではその中から構成力・質感描写・空間表現を重視して採点、判断をいたします。配布されたモチーフをいかに魅力的な配置で構成するか、という点に注意して構図を決めてください。 ものの大小によるバランスの考えられた、全体に動きやテーマのある構成が望ましいです。試験当日に描くモチーフとして、素材や触感の異なった物が配布されますので、個々の特質(例:反射する・映る・柔らかい・固いなど)を描き分け、表情豊かなデッサンを描くことも重要です。固さや濃さの異なった鉛筆を使い分け、それぞれの質感表現につなげたいところです。 画面の中での奥行き、モチーフ同士の前後関係を描くためには、光による明暗や物自体の色(固有色)をきちんと理解した上で全体感を損なわない様に描き進めることも大切です。

実技内容

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

ファンデーション① ※ファンデーションは、①または②のいずれか1つを選択できます。		
対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験	
試験内容	鉛筆デッサン	
試験説明	時 間	3時間
	持 ち 物	鉛筆、消しゴム、練り消しゴム、鉛筆削り用具(カッターナイフなど)の描画道具一式
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	実技で使用する描画道具一式を持参すること。その他必要なものは本学で用意します。
評価ポイント		
(1)理解力 出題内容を正確に読み取り、求められている条件や意図を的確に把握できているか。 (2)構成力 画面全体の空間を意識し、モチーフを効果的に配置して、安定感のある構図をつくることができるか。 (3)発想力 対象の特徴を捉えながら、どのように画面を構成するかについて、自ら考え工夫しようとしているか。 (4)表現力 観察した内容をもとに、形や明暗などを適切に描き分け、意図が伝わる描写ができているか。		

ファンデーション② ※ファンデーションは、①または②のいずれか1つを選択できます。		
対象入試	実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験	
試験内容	デザイン思考力テスト 提示した課題テーマに対して、その背景や問題などを考察し、課題を改善するためのアイデアを検討し、魅力的な企画案としてまとめる	
試験説明	時 間	3時間
	持 ち 物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	入試当日に発表
	大学準備物	実技で使用する筆記用具は持参すること。その他必要なものは本学で用意します。
評価ポイント		
(1)理解力 与えられた課題の内容や背景を読み取り、問題の原因や関係性を整理しながら考えることができているか。 (2)構成力 課題の目的や対象を踏まえ、考えたアイデアを具体的な計画や手順として整理できているか。 (3)発想力 既存の考え方にとらわれず、新しい視点や柔軟なアイデアを生み出そうとしているか。 (4)表現力 自らの考えや提案を、図や言葉を用いて、他者に分かりやすく伝えることができているか。		

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

先端メディア表現コース

対象入試		実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験
試験内容		構想表現テスト 提示した課題テーマに対し、独自の視点で構想し、時間軸に沿ってまとめる
試験説明	時 間	3時間
	持 ち 物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	試験当日に発表
	大学準備物	問題用紙、ワークシート、B 3 画用紙、下描き用紙(A 3 白紙)3枚
評価ポイント		(1)理解力 出題内容を的確に読み取り、求められているテーマや条件を正しく理解できているか。 (2)構成力 出来事や行動の流れを時間の経過に沿って整理し、順序立てて分かりやすく構成できているか。 (3)発想力 新しい視点や独自の考えを取り入れ、説得力のある展開や内容を構想しようとしているか。 (4)表現力 時間的な経過や状況の変化を、絵と言葉を用いて図解し、他者に分かりやすく伝えることができているか。

文芸・ライティングコース

対象入試		実技型入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験
試験内容		文章表現テスト 会話劇の脚本の続きを書く
試験説明	時 間	2時間
	持 ち 物	筆記用具
	モチーフ・課題の公表内容	試験当日に発表
	大学準備物	ドラマ脚本の原稿
評価ポイント		(1)理解力 提示された会話劇の内容や登場人物の関係を読み取り、物語の状況や流れを的確に理解できているか。 (2)構成力 物語の流れを踏まえ、自然で説得力のある展開や結末を組み立てることができているか。 (3)発想力 登場人物の心情や状況を想像しながら、独自の視点や工夫のある展開を考えることができているか。 (4)表現力 脚本の形式と言葉のテイストを合わせ、感情や状況を的確に表し、読者に伝わる表現ができているか。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

リベラルアーツコース

対象入試		実技型入学試験、一般入学試験(後期のみ)
試験内容		構想・リサーチ 多様なピースを組み合わせ、新しい関係性や意味を構築し表現する
試験説明	時 間	合計180分程度 構想・リサーチ(45分):ピースの観察・調査、持参物の整理。 制作・構成(105分):ピースの組み合わせ、配置、言語化(キャプション作成)。 振り返りの記述(30分):制作意図や思考プロセスの記述(ワークシート)。
	持 ち 物	筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、ボールペン) 自身の興味関心、視点を表すようなピース(身の回りの小物 など) ※何点でも可 スマートフォン(ピースの背景を調べるリサーチ用として使用可)
	モチーフ・課題の公表内容	自身が持参した「ピース(興味関心を象徴するもの)」と、当日会場にある「多様なジャンル・時代のピース(写真、図版、小物など)」を自由に組み合わせ、そこに生まれる「新しい関係性」を表現してください。 【表現の方法】指定のトレイ(A3サイズ程度)内にピースを自由に配置し、視覚的に提示します。また、その組み合わせに独自の「タイトル」と、どのような新しい価値や意味が生まれたかの解説あるいは物語などを書きます。 ※試験時間内は、自身のスマートフォン等を使用した背景情報のリサーチを認めます。
	大学準備物	・多様なピース(写真、古本、雑誌、小物 など) ・展示用台 ・解答用ワークシート(制作意図、リサーチ内容、自己評価を記入)
評価ポイント		この試験では、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせ、新しい価値を見つけ出す「編集」の力を測ります。 具体的には、以下の5つの観点をもとに、探究心や新たな価値を創出するための基礎的な能力があるかを総合的に評価します。 (1)知識・理解 既存の情報をそのまま受け取らず、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点でつなぎ合わせる「編集」の役割を理解し、多角的に捉えようとしているか。 (2)意欲・実行 アート、デザイン、音楽、マンガなど、自身の興味関心を起点に、対象の背後にある「意味」や「物語」を探索し、新たなつながりを見つけ出そうとしているか。 (3)思考・判断 単なる材料としてではなく、モノやコトの成り立ちに目を向け、自身の視点で新しい価値や意味を見出そうとしているか。 (4)技能・表現 選択した要素を論理的に構成し、「なぜこの組み合わせにしたのか」という理由を、説得力のある言葉で表現しようとしているか。 (5)コミュニケーション 「正解」を求めるのではなく、自分自身の言葉で「つながり」を定義し、自分の視点を他者に対して伝えようとする姿勢があるか。

教育学部 子ども学科

子ども学科	
対象入試	実技型入学試験、一般入学試験(後期のみ)
試験内容	①アイデア出しを含めた制作(70分) ②プレゼン用ワークシート作成(30分) ③プレゼンテーション(1人当たり5分) ※①②は同じ試験室内でそれぞれの試験時間内に個別制作。③は別室で個別に実施。
試験説明	時 間
	2時間程度
	持 ち 物
	ハサミ、筆記用具
試験説明	モチーフ・課題の公表内容
	試験当日に発表
試験説明	大学準備物
	新聞紙、ホチキス、作品台座、プレゼン用ワークシート、アイデアスケッチ用の紙
評価ポイント	新聞紙という身近な素材から、どのように発想を広げ、自分だけの形を生み出せるかを問う試験です。 新聞紙は扱いやすく、試行錯誤しやすい点で優れています。 新聞紙の素材としての特徴をいかにうまく捉えることができるか、また、自分の作品制作のプロセスや工夫、作品に対する思いなどを他者に伝えることができるかを評価します。

名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表

一般入学試験の「学科試験(英語)」試験を受験する場合に、CEFR基準のスコアを保持する者は、出願時に「活動報告書」でスコアおよび英語力向上のための主体的活動履歴などを提出すれば、所定の配点を付し「学科試験(英語)」の受験を免除することが可能です。CEFRスコア以上得点を獲得したい場合は「学科試験(英語)」を受験することにより、高得点のもので合否判定を行います。

資格・検定試験	CEFR	A2	B1	B2	C1	C2
ケンブリッジ英語検定		120-139 A2 Key B1 Preliminary	140-159 A2 Key B1 Preliminary B2 First	160-179 B1 Preliminary B2 First C1 Advanced	180-199 B2 First C1 Advanced C2 Proficiency	200-230 C1 Advanced C2 Proficiency
実用英語技能検定		1700-1949 準2級・準2級プラス・2級	1950-2299 2級・準1級	2300-2599 1級・準1級	2600-3299 1級	—
GTEC		680-929 Core, Basic, Advanced, CBT	930-1179 2級・準1級	1180-1349 Advanced, CBT	1350-1400 CBT	—
IELTS		—	4.0-5.0	5.5-6.5	7.0-8.0	8.5-9.0
TEAP		135-224	225-308	309-374	375-400	—
TEAP CBT		235-415	420-595	600-795	800	—
TOEFL iBT		—	42-71	72-94	95-120	—
TOEIC L&R TOEIC S&W		625-1145	1150-1555	1560-1840	1845-1990	—
◎本学英語得点獲得率		70% (100点満点中 70点)	80% (100点満点中 80点)	90% (100点満点中 90点)	100% (100点満点中 100点)	100% (100点満点中 100点)

※ただし、TOEIC L & R / TOEIC S & W については、TOEIC S & W のスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※各資格・検定の合格証明書、スコアレポートなどのコピーの提出が必要です。(検定・試験のスコアまたは等級に有効期限がある場合は、当該検定・試験実施団体が定める有効期限に準じます。)

「プラスα加点」について

「活動報告書」の提出で、最大10点を加点します。

高校3年次に至るまでの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定があり、かつ「プラスα（最大10点）」の加点を希望する場合、「活動報告書」を提出することにより、最大10点を加点するものです。

「活動報告書」の様式は本学Webサイトからダウンロードし印刷してください。

※受賞歴、資格・検定等については、第三者により作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。

※以下は一例です。志望する学部・領域・コースの各分野に関する活動履歴や受賞歴、資格・検定等を得点化します。

音楽領域		
音楽に関する大会やコンクール表彰	国際、全国	最大10点
	ブロック	最大6点
	都道府県等	最大2点
音楽に関する部活動や課外クラブ	部長経験	2点
	副部長経験	1点
音楽に関する個人指導歴（音楽教室等）	3年以上指導を受けている場合	最大2点
「音楽」履修状況 (高等学校で芸術科の選択科目で音楽が設置されている場合のみ)	該当教科で著しく優秀な成績を納めた場合	最大4点
ヤマハ音楽能力検定	2～5級	最大10点
カワイグレード検定	1～5級	最大10点
音楽検定	1～3級	最大10点

〔対象入試〕総合型選抜(自己PR型入学試験〔活動評価型〕)

舞台芸術領域		
演劇、ダンス、音楽、その他、舞台芸術に関わる経験やコンクール実績など		最大10点
演劇やダンス、音楽に関する部活動や課外クラブ	役職経験など	最大10点
CEFRスコア保持者 ^{※1}	B2以上	10点
留学経験		最大10点

〔対象入試〕総合型選抜(自己PR型入学試験〔活動評価型〕)

美術領域		
美術・デザインに関する大会やコンクール表彰、および公共展、検定		最大10点
美術・デザインに関する部活動や課外クラブ	部長経験	3点
	副部長経験	1点
「美術」「工芸」履修状況 (高等学校で芸術科の選択科目で美術または工芸が設置されている場合のみ)	当該教科で著しく優秀な成績を納めた場合	最大5点

〔対象入試〕総合型選抜(自己PR型入学試験〔活動評価型〕)

デザイン領域		
美術・デザインに関する大会やコンクール表彰、および公共展、検定		最大10点
美術・デザインに関する部活動や課外クラブ	部長経験	5点
	副部長経験	3点
美術・デザインに関する個人指導歴（画塾等）	過去3年間で2年以上指導を受けている場合	最大10点
「美術」「工芸」履修状況 (高等学校で芸術科の選択科目で美術または工芸が設置されている場合のみ)	当該教科で著しく優秀な成績を納めた場合	最大10点

〔対象入試〕総合型選抜(自己PR型入学試験〔活動評価型〕)

芸術教養領域		
まちづくり、ボランティア、国際交流、イベントのプロデュースに関わった経験など		最大10点
CEFRスコア保持者 ^{※1}	C2	10点
	C1	
	B2	8点
	B1	6点
	A2	4点
ICT、パソコンに関する資格・検定		最大10点
留学経験		最大10点
大会、コンクール表彰 (分野不問)	国際、全国	10点
	ブロック	6点
	都道府県等	2点
生徒会、部活動や課外クラブ (分野不問)	生徒会長経験、部長経験	10点
	生徒会副会長経験、副部長経験	5点

〔対象入試〕総合型選抜(自己PR型入学試験〔活動評価型〕)

子ども学科		
CEFRスコア保持者 ^{※1}	C2	10点
	C1	
	B2	8点
	B1	6点
	A2	4点
社会（奉仕）活動（分野不問） (NPO、NGO、自治体等のプロジェクト参加など)		最大10点
留学経験		最大10点
ICT、パソコンに関する資格・検定		最大10点
大会、コンクール表彰 (分野不問)	国際、全国	10点
	ブロック	6点
	都道府県等	2点
部活動や課外クラブ (分野不問)	部長経験	2点
	副部長経験	1点
個人指導歴 (ピアノや体操教室等)	3年以上指導を受けている場合	最大6点
中学、高校において幼稚園、保育園、小学校における「職場体験」への参加		2点
幼稚園や保育園・小学校等の指導に関わる特技など (音楽や身体表現、詩、俳句、短歌、造形・図工、語学、ICTスキルなど)		最大10点

〔対象入試〕総合型選抜(自己PR型入学試験〔活動評価型〕)

※1 CEFRスコアについては、「名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表」をご参照ください。
(英語得点獲得率の得点とは異なりますのでご注意ください。)

採点基準・評価の観点等

学科・専攻	試験科目	主な採点基準/合格最低条件(学力試験)
全学科領域 共通	志望理由書 自己PRシート	- 課題理解＝明示されているテーマの意図を理解し、志望理由が記載されているか - 学修、入学意欲＝志望分野への理解が高く、入学後の学びのイメージができているか - 目的意識＝本学のアドミッション・ポリシーを理解し、将来社会に貢献することを志しているか - 表現力＝正しい文字・語句・文法を用い、自身の考えが述べられているか - 文章の状態＝記述欄の空欄が少なく、意欲を感じさせる分量の記述があるか
	プレゼンテーション	- 表現力＝聞き手に伝わる工夫ができているか - 構成力＝内容が理解しやすく整理され、一貫性があるか - 情熱・意欲＝志望分野に対する熱意や取り組む姿勢が伝わってくるか
芸術学部 芸術学科 音楽領域	実技試験	- 理解力(読譜力・読解力)＝内容を正しく理解しているか - 基礎力＝基礎的な技術が身についているか - 表現力＝相手に対し、しっかりと伝えられているか - 習熟度＝完成度の高いものになっているか
	小論文	- 課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか - 芸術への志向性＝志望コースの専門性への基礎的な理解と高い意欲を持ち合わせているか - 基礎的な学力＝段落や文字の間違いがなく、文章の構成が整っているか - 自分の意見の表現力＝自分自身の考えが十分述べられているか
	作品提出	- 構成力＝オリジナリティにあふれた個性的な作品になっているか - 完成度＝基本をしっかりと押さえた魅力ある作品になっているか
	基礎学力検査 学科試験	受験者の平均点1/3に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)
芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域	実技試験	- 創造力：これまでの経験に、創造的な発想で取り組んできたか - 実現力：これまでの経験の中で、創造したアイデアを、具体的に実践したか - 言語化能力：創造したアイデア、それを実現したプロセス、その過程での工夫などを、簡潔に説明できるか - プレゼンテーション力：経験したことや考えたことを、他者にわかりやすく説明できるか - コミュニケーション力：質問の意味を理解し、的確に応答できるか
	小論文	- 課題の理解力 - 論理的および批判的思考力 - 独自性＝自分なりの考えが十分に述べられているか - 基礎学力＝語彙力、文章力等において基礎的な力を身に付けているか - 舞台芸術全般に対する興味関心
	基礎学力検査 学科試験	受験者の平均点1/3に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)
芸術学部 芸術学科 美術領域	自己持参作品による プレゼンテーション	- 完成度＝持参作品や作品写真ファイル(ポートフォリオ)が、説得力のある内容であるか - 表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか - 美術に対する気持ち＝入学後の学習意欲や作品制作に対する熱意を備えているか
	小論文	- 課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか - 文章の基礎力＝誤字脱字、論文の構成は整っているか - 表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか - 美術に対する気持ち＝美術を学ぶための意欲や関心を備えているか
	静物デッサン	- 観察力＝モチーフを的確に把握・理解しているか - 描写力＝形、光、色、立体感、質感等を描写するために必要な技術があるか - 表現力・構成力＝空間への意識を持ち、モチーフを効果的に構成する基礎的な表現力があるか
	基礎学力検査 学科試験	領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)

※体験授業型入学試験および教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験については該当ページを参照

学科・専攻	試験科目	主な採点基準/合格最低条件(学力試験)
芸術学部 芸術学科 デザイン領域	自己持参作品による プレゼンテーション	・完成度＝持参作品(ポートフォリオ)の完成が高く、説得力のある内容であるか ・表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・デザインへの思考＝デザイン領域で学ぶための意欲や関心を備えているか
	鉛筆デッサン	・理解力＝ 出題内容を正確に読み取り、求められている条件や意図を的確に把握できているか。 ・構成力＝ 画面全体の空間を意識し、モチーフを効果的に配置して、安定感のある構図をつくる ことができているか。 ・発想力＝ 対象の特徴を捉えながら、どのように画面を構成するかについて、自ら考え工夫し ようとしているか。 ・表現力＝ 観察した内容をもとに、形や明暗などを適切に描き分け、意図が伝わる描写ができて いるか。
	デザイン思考力テスト	・理解力＝ 与えられた課題の内容や背景を読み取り、問題の原因や関係性を整理しながら考える ことができているか。 ・構成力＝ 課題の目的や対象を踏まえ、考えたアイデアを具体的な計画や手順として整理できて いるか。 ・発想力＝ 既存の考え方にとらわれず、新しい視点や柔軟なアイデアを生み出そうとしているか。 ・表現力＝ 自らの考えや提案を、図や言葉を用いて、他者に分かりやすく伝えることができて いるか。
	構想表現テスト (先端メディア表現コース)	・理解力＝ 出題内容を的確に読み取り、求められているテーマや条件を正しく理解できているか。 ・構成力＝ 出来事や行動の流れを時間の経過に沿って整理し、順序立てて分かりやすく構成でき ているか。 ・発想力＝ 新しい視点や独自の考えを取り入れ、説得力のある展開や内容を構想しようとして いるか。 ・表現力＝ 時間的な経過や状況の変化を、絵と言葉を用いて図解し、他者に分かりやすく伝える ことができているか。
	文章表現テスト (文芸・ライティングコース)	・理解力＝ 提示された会話劇の内容や登場人物の関係を読み取り、物語の状況や流れを的確に 理解できているか。 ・構成力＝ 物語の流れを踏まえ、自然で説得力のある展開や結末を組み立てることができて いるか。 ・発想力＝ 登場人物の心情や状況を想像しながら、独自の視点や工夫のある展開を考えることが できているか。 ・表現力＝ 脚本の形式と言葉のテイストを合わせ、感情や状況を的確に表し、読者に伝わる表現 ができているか。
	小論文	・課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか ・論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか ・基礎的な学力＝段落や文字の間違いはないか ・表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか ・デザインへの思考＝デザイン領域で学ぶための意欲や関心を備えているか
	基礎学力検査 学科試験	・領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
芸術学部 芸術学科 芸術教養領域	実技試験	(1)知識・理解＝既存の情報をそのまま受け取らず、世の中にあるモノやコトを自分なりの視点 でつなぎ合わせる「編集」の役割を理解し、多角的に捉えようとしているか。 (2)意欲・実行＝アート、デザイン、音楽、マンガなど、自身の興味関心を起点に、対象の背後にあ る「意味」や「物語」を探究し、新たなつながりを見つけ出そうとしているか。 (3)思考・判断＝単なる材料としてではなく、モノやコトの成り立ちに目を向け、自身の視点で 新しい価値や意味を見出そうとしているか。 (4)技能・表現＝選択した要素を論理的に構成し、「なぜこの組み合わせにしたのか」という理由 を、説得力のある言葉で表現しようとしているか。 (5)コミュニケーション＝「正解」を求めるのではなく、自分自身の言葉で「つながり」を定義し、 自分の視点を他者に対して伝えようとする姿勢があるか。
	小論文	・質問を理解して答えているか ・日本語として分かりやすく正しい表現になっているか ・答えの内容がアドミッション・ポリシーに基づいており、かつ独創的で興味深い
	基礎学力検査 学科試験	・領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
教育学部 子ども学科	実技試験	・発想・構想力＝新聞紙という身近な素材から発想を広げ、独自性のある形や表現を構想できて いるか。 ・素材理解・活用力＝新聞紙の軽さ、薄さ、折る・丸める・破る・重ねるなどの特性を理解し、 制作に効果的に生かしているか。 ・造形表現力＝形、構造、バランス、空間性などを意識し、作品としてまとまりのある表現ができ ているか。 ・工夫・試行錯誤する力＝制作過程において、素材の扱い方や構成方法を工夫しながら、よりよい 表現に向けて粘り強く取り組んでいるか。 ・制作意図の説明・伝達力＝作品制作のプロセス、工夫した点、作品に込めた思いや考えを、他者 に分かりやすく伝えることができているか。
	小論文	・課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか ・論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか ・基礎的な学力＝段落や文字の間違いはないか ・自分の意見の表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか ・教育・保育のセンス＝教育者・保育者になるための意欲や関心を備えているか
	基礎学力検査 学科試験	・領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)

※体験授業型入学試験および教育学部大学入学共通テスト利用型特待入学試験については該当ページを参照

各種情報提供(過去問題、入試結果)

名古屋芸術大学受験生サイト「入試情報」

昨年度の入試結果、および昨年度の入試問題(小論文、鉛筆デッサン、学科試験等の課題)、面接時の質問事項を掲載しております。

www.nua.ac.jp/examinee/entrance/

問い合わせ先



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

東キャンパス

〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地

西キャンパス

〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地

詳しいお問い合わせについてはこちらへお電話ください

広報部 学生募集チーム

TEL [0568]24-0318

受付時間 9:00～17:00[土日祝日除く]